



● 一般共通事項

● 一般共通事項	⑮ 保温（続き）	注 1. 原則として、露出配管は保温化紐ケースに電線隠し配線及び操作線を収納し天井内、パイプシャフト内、床下及び暗渠内等は冷媒管保温上に共縛りとして固定する。 2. ポリスチレンフォーム保温筒は、ガス管20mm、液管10mm厚以上とする。 3. 保温化紐ケースは、耐候処置を施した塩化ビニル樹脂製で-20℃～60℃まで耐えるもの。 4. 保温化紐ケースに冷媒管を収めた場合、適当な余裕があればドレン管をケース内に収めても良い。 (3) 屋内露出配管の施工 屋内露出配管の保温見切り箇所には菊座を、また分岐曲がり部等にはバンドを付けるものとする。なお、材質は全て冷間圧延ステンレス製とし、バンド幅は保温外径150mm以下は20mm、150mm以上は25mm、菊座は全て50mmとする。 (4) 給水管・排水管保温仕様	<table><tr><th>施工箇所</th><th>材 料 及 び 施 工 順 序</th><th>参 考 施 工 箇 所</th></tr><tr><td rowspan="3">屋内露出</td><td>1. ポリスチレンフォーム保温筒 2. 粘着テープ 3. 合成樹脂製カバー</td><td>一般居室、廊下</td></tr><tr><td>1. ポリスチレンフォーム保温筒 2. 粘着テープ 3. アルミガラスクロス</td><td>機械室、書庫、倉庫</td></tr><tr><td>1. ポリスチレンフォーム保温筒 2. 粘着テープ 3. アルミガラスクロス</td><td>天井内、パイプシャフト</td></tr><tr><td>屋内隠蔽</td><td>1. 保温チューブ巻き（ライトカバー） 2. ビニルテープ（1m間隔）</td><td>天井壁内</td></tr><tr><td>床 下</td><td>1. ポリスチレンフォーム保温筒 2. 粘着テープ 3. ポリエチレンフィルム 4. 着色アルミガラスクロス</td><td>床下、暗渠内、地下ピット</td></tr><tr><td>屋外露出</td><td>1. ポリスチレンフォーム保温筒 2. 粘着テープ 3. ポリエチレンフィルム 4. ステンレス鋼板</td><td>屋外露出（バルコニー、開放廊下を含む）及び浴室、厨房等の多湿箇所（厨房の天井内は含まない）</td></tr></table>	施工箇所	材 料 及 び 施 工 順 序	参 考 施 工 箇 所	屋内露出	1. ポリスチレンフォーム保温筒 2. 粘着テープ 3. 合成樹脂製カバー	一般居室、廊下	1. ポリスチレンフォーム保温筒 2. 粘着テープ 3. アルミガラスクロス	機械室、書庫、倉庫	1. ポリスチレンフォーム保温筒 2. 粘着テープ 3. アルミガラスクロス	天井内、パイプシャフト	屋内隠蔽	1. 保温チューブ巻き（ライトカバー） 2. ビニルテープ（1m間隔）	天井壁内	床 下	1. ポリスチレンフォーム保温筒 2. 粘着テープ 3. ポリエチレンフィルム 4. 着色アルミガラスクロス	床下、暗渠内、地下ピット	屋外露出	1. ポリスチレンフォーム保温筒 2. 粘着テープ 3. ポリエチレンフィルム 4. ステンレス鋼板	屋外露出（バルコニー、開放廊下を含む）及び浴室、厨房等の多湿箇所（厨房の天井内は含まない）																														
	施工箇所	材 料 及 び 施 工 順 序	参 考 施 工 箇 所																																																	
	屋内露出	1. ポリスチレンフォーム保温筒 2. 粘着テープ 3. 合成樹脂製カバー	一般居室、廊下																																																	
		1. ポリスチレンフォーム保温筒 2. 粘着テープ 3. アルミガラスクロス	機械室、書庫、倉庫																																																	
		1. ポリスチレンフォーム保温筒 2. 粘着テープ 3. アルミガラスクロス	天井内、パイプシャフト																																																	
	屋内隠蔽	1. 保温チューブ巻き（ライトカバー） 2. ビニルテープ（1m間隔）	天井壁内																																																	
	床 下	1. ポリスチレンフォーム保温筒 2. 粘着テープ 3. ポリエチレンフィルム 4. 着色アルミガラスクロス	床下、暗渠内、地下ピット																																																	
	屋外露出	1. ポリスチレンフォーム保温筒 2. 粘着テープ 3. ポリエチレンフィルム 4. ステンレス鋼板	屋外露出（バルコニー、開放廊下を含む）及び浴室、厨房等の多湿箇所（厨房の天井内は含まない）																																																	
	19 制御及び操作盤	製造所名及び施工業者名を容易に消えない方法で記載した銘板を、扉付は扉裏面に、扉なしは全面板の見えがかりのよい位置に取り付ける。																																																		
	⑮ 塗装及び防錆	標準仕様書第2編によるほか下記による。 (1) 屋内及び屋外露出部で塩化ビニル管（カラーパイプを除く）使用時の排水管、通気管、排気管及びビニル製付属品等は、塩化ビニル系エナメル2 回塗りとする。 (2) 鉄製製マンホール蓋、各種ボックス用鉄製蓋、その他の鉄製品は、タールエポキシ塗りとする。 (3) 浄化槽、グリーストラップなどの鋼板製蓋は、溶融亜鉛めっきとする。 (4) 亜鉛めっき鋼管、ライニング鋼管などのネジ山部分、その他サビの恐れのある部分は、全て高濃度亜鉛め塗り（参考品名：ローパル）でサビの防止処置をする。																																																		
⑮ 試験	標準仕様書第2編によるほか下記による。 (1) 給水配管は、試験圧力1.0MPa（10kg/cm2）以上とし、保持時間は60分以上とする。但し、配水本管から第1 止水栓までは、鹿児島市水道局施工基準（試験圧力：サドル分水栓1.75MPa（17.5kg/cm2）、保持時間1分以上、不漏水 T 字管 1.0MPa（10.0kg/cm2）、保持時間1分以上）による。なお、上記にそぐわないと判断される場合は、監督員と協議することとする。 (2) 給湯配管は、試験圧力1.75MPa（17.5kg/cm2）以上とし、保持時間は60分以上とする。なお、上記にそぐわないと判断される場合は、監督員と協議することとする。 (3) 冷媒配管は、標準仕様書に基づく耐圧試験を行うこととし、保持時間は24時間以上とする。																																																			
⑮ 提出図書等	(1) 標準仕様書第1編及び鹿児島市機械設備工事「提出書類作成要領」による。 (2) 施工図等の著作権に係わる当該建物に限る使用権は、発注者に移譲するものとする。竣工時に、国土交通省大臣官庁官庁管轄部監修機械設備工事監理指針第1 編による、竣工時中長期保全計画書（長期保全計画書）を作成する。作成方法等は、監督員の指示による。																																																			
⑮ 保全計画書	ヤンバルトサカヤステのまん延を防止するため、当該現場での土壌や植物等の搬出に当たっては、次の各号を参考に、十分注意を払うとともに、ヤンバルトサカヤステの根拠が確認された場合は、まん延防止対策を講ずる必要があるため、根拠状況等の調査を行い、監督員に報告すること。																																																			
⑮ ヤンバルトサカヤステのまん延防止対策	(1) 土・樹木等の措置 ア 発生地区からの搬出を極力抑えることを原則とする。 イ 腐葉樹木等については、一般廃棄物、産業廃棄物が取扱い可能な焼却施設で焼却処理する。 一般廃棄物：市町村の所管する焼却施設、業の許可を有している民間焼却施設 産業廃棄物：業の許可を有している民間焼却施設 (2) 工事区域周辺部の措置 周辺部への拡散を防止するため、周辺部に薬剤散布等の措置を行う。 (3) やむを得ず、土・樹木等を発生地区から搬出する場合の措置 ア 薬剤処理・熏蒸処理後、搬出する。 イ 薬剤処理の困難な廃作物等の搬出の場合は付着土壌の除去目視除去後搬出する。 (4) 発生地区に搬入した建設機械や農・林業工作機械の措置 付着土壌の除去並びに薬剤処理後、搬出する。 (5) 未発生地区での措置 発生地区からの土・樹木等の搬入や農・林業工作機械の移動等があった場合は、上記（3）、（4）の措置が講じられているかを確認する。																																																			
● 空気調和と冷暖房・換気設備	① 設計用温湿度条件	<table><tr><th rowspan="2"></th><th colspan="2">室 内 条 件</th><th colspan="8">屋 外 条 件</th></tr><tr><th>温度 (DB) [℃]</th><th>湿度 (RH) [%]</th><th>温度 (DB) [℃]</th><th>湿度 (RH) [%]</th><th>9時</th><th>12時</th><th>14時</th><th>16時</th><th>9時</th><th>12時</th><th>14時</th><th>16時</th></tr><tr><td>夏 期</td><td>26.0</td><td>50</td><td>31.4</td><td>34.0</td><td>34.7</td><td>34.1</td><td>73.5</td><td>63.9</td><td>60.7</td><td>62.8</td><td></td><td></td></tr><tr><td>冬 期</td><td>22.0</td><td>40</td><td></td><td>3.4</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>65.9</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>		室 内 条 件		屋 外 条 件								温度 (DB) [℃]	湿度 (RH) [%]	温度 (DB) [℃]	湿度 (RH) [%]	9時	12時	14時	16時	9時	12時	14時	16時	夏 期	26.0	50	31.4	34.0	34.7	34.1	73.5	63.9	60.7	62.8			冬 期	22.0	40		3.4					65.9				
		室 内 条 件		屋 外 条 件																																																
		温度 (DB) [℃]	湿度 (RH) [%]	温度 (DB) [℃]	湿度 (RH) [%]	9時	12時	14時	16時	9時	12時	14時	16時																																							
	夏 期	26.0	50	31.4	34.0	34.7	34.1	73.5	63.9	60.7	62.8																																									
冬 期	22.0	40		3.4					65.9																																											
2 煙道	銅板厚（ ・ 3.2mm ・ 4.5mm ）																																																			
③ ダクト	○ 低圧ダクト（ ・ アングルフランジ工法 ○ スパイラルダクト ・ コーナールボルト工法（長辺の長さが1,500mm以下の部分） ・ 高圧1ダクト（適用範囲は図示による） ○ その他のダクト（ ○ VU ・ VP ）																																																			
④ 接続フレキ	一般空調用機器、換気扇はアルミ製、レンジフード等火を使用する場所は鉄製、浴室等湿気のある場所は樹脂製とし使用範囲は、最小限とする。																																																			

5	風量測定口	取付箇所は下記による。 ・ 図示した位置 ・ 送風機吐出ダクト又は吸込ダクト ・ 外気取入れダクト ・ 空調機出口チャンパーの分岐ダクト																																																
6	チャンパー	(1) 内貼りを施すチャンパーの表示寸法は外法を示す。 (2) 空気調和機、温風暖房機に取り付けるサプライチャンパー、レタンチャンパー、及び風道系で消音内貼りしたチャンパーには点検口を設け、大きさは図示による。 (3) ガラリに直接取り付けるチャンパー類は雨水の滞留のないように施工する。																																																
7	ダンパー	(1) 防煙ダンパー 復帰方式（ ・ 遠隔 ・ ） 定格入力DC24V、0.7A以下とする。 (2) ビストンダンパー 復帰方式（ ・ 遠隔 ・ ）																																																
8	配管材料	<table><tr><th>種 別</th><th>区 分</th><th>使 用 材 料</th></tr><tr><td rowspan="2">冷水水管</td><td></td><td>・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 水配管用亜鉛めっき鋼管 SGP-W</td></tr><tr><td></td><td>・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 水配管用亜鉛めっき鋼管 SGP-W</td></tr><tr><td rowspan="2">冷却水管</td><td></td><td>・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 水配管用亜鉛めっき鋼管 SGP-W</td></tr><tr><td></td><td>・ 配管用炭素鋼鋼管（黒） ・ 配管用炭素鋼鋼管（黒）</td></tr><tr><td rowspan="2">油 管</td><td>一 般</td><td>・ 配管用炭素鋼鋼管（黒）</td></tr><tr><td>地中埋設</td><td>・ 配管用炭素鋼鋼管（黒）</td></tr><tr><td rowspan="2">蒸 気 管</td><td>給 気 管</td><td>・ 圧力配管用炭素鋼鋼管（黒）Sch40</td></tr><tr><td>還 管</td><td>・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 配管用炭素鋼鋼管（白）</td></tr><tr><td rowspan="2">膨 張 管</td><td></td><td>・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 配管用炭素鋼鋼管（白）</td></tr><tr><td></td><td>・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 配管用炭素鋼鋼管（白）</td></tr><tr><td rowspan="2">空気抜き管</td><td></td><td>・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 配管用炭素鋼鋼管（白）</td></tr><tr><td></td><td>・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 配管用炭素鋼鋼管（白）</td></tr><tr><td rowspan="2">ドレン管</td><td></td><td>・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 配管用炭素鋼鋼管（白）</td></tr><tr><td></td><td>・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 配管用炭素鋼鋼管（白）</td></tr><tr><td rowspan="2">補給水管</td><td></td><td>・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 配管用炭素鋼鋼管（白）</td></tr><tr><td></td><td>・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 配管用炭素鋼鋼管（白）</td></tr><tr><td rowspan="2">冷 媒 管</td><td></td><td>・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 配管用炭素鋼鋼管（白）</td></tr><tr><td></td><td>・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 配管用炭素鋼鋼管（白）</td></tr></table>	種 別	区 分	使 用 材 料	冷水水管		・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 水配管用亜鉛めっき鋼管 SGP-W		・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 水配管用亜鉛めっき鋼管 SGP-W	冷却水管		・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 水配管用亜鉛めっき鋼管 SGP-W		・ 配管用炭素鋼鋼管（黒） ・ 配管用炭素鋼鋼管（黒）	油 管	一 般	・ 配管用炭素鋼鋼管（黒）	地中埋設	・ 配管用炭素鋼鋼管（黒）	蒸 気 管	給 気 管	・ 圧力配管用炭素鋼鋼管（黒）Sch40	還 管	・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 配管用炭素鋼鋼管（白）	膨 張 管		・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 配管用炭素鋼鋼管（白）		・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 配管用炭素鋼鋼管（白）	空気抜き管		・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 配管用炭素鋼鋼管（白）		・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 配管用炭素鋼鋼管（白）	ドレン管		・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 配管用炭素鋼鋼管（白）		・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 配管用炭素鋼鋼管（白）	補給水管		・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 配管用炭素鋼鋼管（白）		・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 配管用炭素鋼鋼管（白）	冷 媒 管		・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 配管用炭素鋼鋼管（白）		・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 配管用炭素鋼鋼管（白）
種 別	区 分	使 用 材 料																																																
冷水水管		・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 水配管用亜鉛めっき鋼管 SGP-W																																																
		・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 水配管用亜鉛めっき鋼管 SGP-W																																																
冷却水管		・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 水配管用亜鉛めっき鋼管 SGP-W																																																
		・ 配管用炭素鋼鋼管（黒） ・ 配管用炭素鋼鋼管（黒）																																																
油 管	一 般	・ 配管用炭素鋼鋼管（黒）																																																
	地中埋設	・ 配管用炭素鋼鋼管（黒）																																																
蒸 気 管	給 気 管	・ 圧力配管用炭素鋼鋼管（黒）Sch40																																																
	還 管	・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 配管用炭素鋼鋼管（白）																																																
膨 張 管		・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 配管用炭素鋼鋼管（白）																																																
		・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 配管用炭素鋼鋼管（白）																																																
空気抜き管		・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 配管用炭素鋼鋼管（白）																																																
		・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 配管用炭素鋼鋼管（白）																																																
ドレン管		・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 配管用炭素鋼鋼管（白）																																																
		・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 配管用炭素鋼鋼管（白）																																																
補給水管		・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 配管用炭素鋼鋼管（白）																																																
		・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 配管用炭素鋼鋼管（白）																																																
冷 媒 管		・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 配管用炭素鋼鋼管（白）																																																
		・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 配管用炭素鋼鋼管（白）																																																
9	弁類	図面に明記なき場合は（ ・ JIS5K ・ JIS10K ）とする。																																																
10	温度計	取付部は標準仕様書によるほか以下による。なお、温度計は工業用バイメタル式温度計（目盛板外径100φ）とする。 ・ ボイラーの温水管（入口側） ・ 温風暖房機の吐出ダクト、レタンダクト、外気取入れダクト及びレタンチャンパー ・ 温水発生機の温水管（出入口側） ・ 冷凍機の冷水管（出入口側）及び冷却水管（出入口側） ・ 直置き吸収冷水水機機の冷水水管（出入口側）及び冷却水管（出入口側） ・ 空気調和機の冷水水管（出入口側） ・ 空気調和機（パッケージ形を含む）のサプライチャンパー、レタンダクト、外気取入れダクト及びレタンチャンパー ・ 冷水水ヘッダー（往）及び各返り管 ・ 熱交換器の温水管（出入口側）																																																
11	圧力計	取付部は標準仕様書によるほか下記による。 ・ 温水発生機の温水管（出入口側） ・ 冷凍機の冷水管（出入口側）及び冷却水管（出入口側） ・ 直置き吸収冷水水機機の冷水水管（出入口側）及び冷却水管（出入口側） ・ 空気調和機の冷水水管（出入口側） ・ 熱交換器の温水管（出入口側）																																																
12	瞬間流量計及び流量測定口	コック付とし、取付部は標準仕様書によるほか下記による。なお、着脱型の指示部は各サイズ1個付属とする。 取付部は標準仕様書によるほか下記による。 ・ 温水発生機の温水管（入口側）に（ ・ 固定形 ・ 着脱形 ）を設ける。 ・ 冷凍機の冷水管（出口側）及び冷却水管（出口側）に（ ・ 固定形 ・ 着脱形 ）を設ける。 ・ 直置き吸収冷水水機機の冷水水管（出口側）及び冷却水管（出口側）に（ ・ 固定形 ・ 着脱形 ）を設ける。 ・ 空気調和機の冷水水管（入口又は出口側）に（ ・ 固定形 ・ 着脱形 ）を設ける。 ・ 冷水水ヘッダーの（ ・ 各送り管 ・ 各返り管 ）に（ ・ 固定形 ・ 着脱形 ）を設ける。																																																
13	油面制御装置	制御室には（ ・ 給油ポンプ制御 ・ 満油警報 ・ 遠隔警報 ・ 電磁弁制御 ・ 返油ポンプ制御 ・ 減油警報 ・ ）の端子を設ける。																																																
14	保温及び消音内貼り	なお、フロートスイッチ部と制御室間の配管配線は、製造者の標準仕様とする。 標準仕様書第2編によるほか、下記による。 ・ 送りダクトの保温要（保温の厚さ25mm、範囲は空調室及び空調室天井内を除く） ・ 外気ダクトの保温要（保温の厚さ25mm、図示及び下記範囲の保温を行う） ・ 空調室の室内及び天井内 ・ 電気室 ・ 発電機室 ・ 多湿箇所の室内及び天井内 ・ エレベーター機械室 ・ 膨張タンクよりボイラー等への補給水管及び建物内の空気抜き管の保温は、標準仕様書第2編3.1.4の膨張管の項による。 ・ 空気調和機及びファンコイルユニットの排水管の保温は、標準仕様書第2編の3.1.5の排水管の項による。 ・ 消音内貼りの施工範囲は図示したダクト及びチャンパー類とする。																																																
15	たわみ継手	使用箇所は下記による。 ・ 図示の箇所 ・ 給排気ファンのダクト接続部 ・ ユニート形空気調和機のダクト接続部（機内防振機器を除く）																																																
16	機器の据付	パッケージエアコン及びルームクーラー等の室外機は、防振ゴムパット（厚さ15mm以上）の上に、ステンレス製アンカーボルトにて固定する。																																																
17	機器の塗装	室外機塗装（ ・ 標準仕様 ・ 耐塩害仕様 ・ 耐重塩害仕様 ・ その他） 塗装仕様については、製造者の仕様とする。																																																
18	試運転調整等	施工完了時に所定の試運転調整を行うことを原則とするが、完成後1年間は、冷房及び暖房時期に入る直前にも、各試運転調整を行うと共に、関係者に対し取り扱い説明を受注者の負担において行う。 また、施工完了時に行った試運転調整は、機器等の運転状態の記録表及び測定結果をまとめた測定表を作成し、速やかに提出する。 測定表には、測定器名、測定日時及び測定者名を記入し、測定点を示した図面を添付する。																																																
19	冷媒ガスの処理	(1) フルオロカーボン（フロン）を使用している機器を撤去する場合は、事前にガスの回収を行うこと。 (2) 回収したガスは、全て破壊処理するものとする。 (3) 回収フロン破壊証明書を提出すること。 (4) 回収及び破壊処理については、フロン排出抑制法に従い、「フロン回収行程管理票」を使用してフロン回収行程の適正な管理を行うこと。 (5) 「フロン回収行程管理票」を含む、冷媒ガスの処理に係わる費用は全て受注者の負担とする。																																																
20	予備品等	標準仕様書によるほか下記の予備品を備える。 ・ ・ ・																																																

● 衛生器具設備

衛生器具設備	① 器具及び付属品	(1) 大・小便器用標記板は、陶器製（原則として衛生器具と同色）とし、小学校児童トイレ及び幼児用トイレに使用するものは、標記文字をひらがな又はかなで標記したものとする。 (2) 参考品番の指定がない場合の紙巻器は、市営住宅に使用するもの及び優先トイレに使用するものを除き、ステンレス鋼板製ワンタッチ形とする。 器具の取り付け高さは下記による。ただし、鹿児島市福祉環境整備指針に規定されている器具及びタイル目地合わせ等体裁上必要な場合は変更しても良いこととする。																																									
	② 器具の取付け高さ	<table><tr><th rowspan="2">器具名称</th><th colspan="2">取付け高さ</th><th rowspan="2">備 考</th></tr><tr><th>一 般</th><th>小 学 校 幼 児</th></tr><tr><td>壁掛小便器</td><td>530</td><td>350</td><td rowspan="5">床面より前縁上端まで</td></tr><tr><td>洗 面 器</td><td>750</td><td>650 550</td></tr><tr><td>手 洗 器</td><td>760</td><td>700 500</td></tr><tr><td>実験 流 し</td><td>850</td><td>700</td></tr><tr><td>料理 流 し</td><td>820</td><td>700</td></tr><tr><td>化 粧 鏡</td><td>1,500</td><td>1,400 1,100</td><td>床面より鏡中心まで</td></tr><tr><td>化 粧 棚</td><td>100</td><td>100</td><td>鏡下端より棚上端まで</td></tr><tr><td>水 栓 流 し</td><td>300</td><td>300 200</td><td>流し床より吐口まで</td></tr><tr><td>浴 槽</td><td>150</td><td></td><td>前縁上端より吐口まで</td></tr><tr><td>浴室洗い場</td><td>300</td><td></td><td>洗い場床面より吐口まで</td></tr></table> 注 1. 学校の乾式床の和風便器は、便器リムと床土上面を同一面とする。 （学校以外の施設、湿式床の場合は監督員と協議すること。） 注 2. 中学校及び高校は、一般寸法とする。ただし、中学校理科室に取り付ける実験流しは、小学校寸法とする。	器具名称	取付け高さ		備 考	一 般	小 学 校 幼 児	壁掛小便器	530	350	床面より前縁上端まで	洗 面 器	750	650 550	手 洗 器	760	700 500	実験 流 し	850	700	料理 流 し	820	700	化 粧 鏡	1,500	1,400 1,100	床面より鏡中心まで	化 粧 棚	100	100	鏡下端より棚上端まで	水 栓 流 し	300	300 200	流し床より吐口まで	浴 槽	150		前縁上端より吐口まで	浴室洗い場	300	
器具名称	取付け高さ			備 考																																							
	一 般	小 学 校 幼 児																																									
壁掛小便器	530	350	床面より前縁上端まで																																								
洗 面 器	750	650 550																																									
手 洗 器	760	700 500																																									
実験 流 し	850	700																																									
料理 流 し	820	700																																									
化 粧 鏡	1,500	1,400 1,100	床面より鏡中心まで																																								
化 粧 棚	100	100	鏡下端より棚上端まで																																								
水 栓 流 し	300	300 200	流し床より吐口まで																																								
浴 槽	150		前縁上端より吐口まで																																								
浴室洗い場	300		洗い場床面より吐口まで																																								
給水設備	① 配管材料	<table><tr><th>区 分</th><th>使 用 材 料</th></tr><tr><td>給 水 引 込 管 （メーター迄）</td><td>・ 水道用ポリエチレン管（2層管1種） ・ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 SGP-VD</td></tr><tr><td>屋 外 埋 設 （メーター以降）</td><td>○ 水道用硬質塩化ビニル管 HI-VP ・ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 SGP-VD</td></tr><tr><td>屋 内 一 般</td><td>○ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 SGP-VB ○ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 SGP-VD ・</td></tr><tr><td>土 間（地 中） コンクリート内</td><td>○ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 SGP-VD ・</td></tr><tr><td>ビ ッ ト 内</td><td>・ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 SGP-VB ○ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 SGP-VD ・</td></tr></table> 注. 図示なき給水管の最小口径は、呼び径20mmとする。 (1) 水栓は、JIS B 2061（給水栓）によるものであるが、湯用単水栓は全て陶器製ハンドルとする。なお、湯用単水栓と併設して取り付けられる水栓についても体裁上必要と思われるものは、陶器製ハンドルを使用し、湯・水の区別表示をする。 (2) シングルレバー式の水栓は、レバーを上げたとき吐水し、下げたとき止水する構造の、下止め方式とする。 (3) 連合流しに使用する水栓（市営住宅を除く）及び監督員の指示した水栓は、節水コマ組み込み型とする。 親メーター（ ・ 貨物品（取付本工事） ・ 自己財 ） 子メーター（ ・ 貨物品（取付本工事） ・ 自己財 ） 呼び径25mm以下は、ボール式伸縮止水栓及び逆止弁と併用ボックスとする。 なお、形状、寸法及び50mm以上のボックスについては、鹿児島市機械設備工事「標準施工要領」による。 (4) 図面に明記なき場合は下記による。 水道直結部分（○ JIS10K ・ ） ポンプ圧送部（ ・ JIS10K ・ JIS5K ） その他の部分（ ・ JIS10K ・ JIS5K ） ハンドルの式弁のボックスは、コンクリート製角形とし、キャップ式弁（水道用仕切弁）のボックスはコンクリート製丸形とする。なお、形状、寸法その他は鹿児島市機械設備工事「標準施工要領」による。 タンクには、揚水管、給水管、排水管、オーバーフロー管、通気管等の接続口及び電極等の取付座（カバー付）を設け、次の付属品を備える。 (1) マンホール（600φ旋錠付、降灰対策用内蓋付） (2) はしご ① FRP製タンク タンク内は合成樹脂製、タンク外は鋼製（溶融亜鉛めっき仕上2種35）又はステンレス鋼製 ② ステンレス鋼板製タンク タンク内は合成樹脂製又はステンレス鋼製 SUS329J4L、タンク外は鋼製（溶融亜鉛めっき仕上2種35）又はステンレス鋼製 (3) 防虫網 通気管及びオーバーフロー管には、合成樹脂製又はステンレス製の防虫網を取付ける。なお、飲料水以外（汚水タンクを除く）の全てのタンクについても上記の管には防虫網を取付ける。 水道事業者への納入手続きを行うこと。 ただし給水負担金は、（ ・ 本工事に含む ・ 別途 ）	区 分	使 用 材 料	給 水 引 込 管 （メーター迄）	・ 水道用ポリエチレン管（2層管1種） ・ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 SGP-VD	屋 外 埋 設 （メーター以降）	○ 水道用硬質塩化ビニル管 HI-VP ・ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 SGP-VD	屋 内 一 般	○ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 SGP-VB ○ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 SGP-VD ・	土 間（地 中） コンクリート内	○ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 SGP-VD ・	ビ ッ ト 内	・ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 SGP-VB ○ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 SGP-VD ・																													
	区 分	使 用 材 料																																									
給 水 引 込 管 （メーター迄）	・ 水道用ポリエチレン管（2層管1種） ・ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 SGP-VD																																										
屋 外 埋 設 （メーター以降）	○ 水道用硬質塩化ビニル管 HI-VP ・ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 SGP-VD																																										
屋 内 一 般	○ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 SGP-VB ○ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 SGP-VD ・																																										
土 間（地 中） コンクリート内	○ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 SGP-VD ・																																										
ビ ッ ト 内	・ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 SGP-VB ○ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 SGP-VD ・																																										
② 水栓	3 水道メーター 4 メーターボックス ⑤ 弁類 ⑥ 弁ボックス 7 タンク 8 給水負担金																																										
排水設備	① 配管材料	<table><tr><th>区 分</th><th>使 用 材 料</th></tr><tr><td>屋 内 ・ 汚 水 管</td><td>・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 WSP O42 ○ 硬質塩化ビニル管 VP（露出部 VC） ・ 耐火二層管</td></tr><tr><td>屋 内 ・ 雑排水管</td><td>・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 WSP O42 ○ 硬質塩化ビニル管 VP（露出部 VC） ・ 耐火二層管</td></tr><tr><td>屋 内 ・ 通 気 管</td><td>○ 硬質塩化ビニル管 VP（露出部 VC） ・ 耐火二層管</td></tr><tr><td>屋 外 ・ 第 1 樹迄</td><td>・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 WSP O42 ○ 硬質塩化ビニル管（ ○ VP ・ VU ）</td></tr><tr><td>屋 外 ・ 樹 間</td><td>○ 硬質塩化ビニル管（ ・ VP ○ VU ） ・</td></tr></table> ② 洗面器等の排水管 ③ 樹類	区 分	使 用 材 料	屋 内 ・ 汚 水 管	・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 WSP O42 ○ 硬質塩化ビニル管 VP（露出部 VC） ・ 耐火二層管	屋 内 ・ 雑排水管	・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 WSP O42 ○ 硬質塩化ビニル管 VP（露出部 VC） ・ 耐火二層管	屋 内 ・ 通 気 管	○ 硬質塩化ビニル管 VP（露出部 VC） ・ 耐火二層管	屋 外 ・ 第 1 樹迄	・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 WSP O42 ○ 硬質塩化ビニル管（ ○ VP ・ VU ）	屋 外 ・ 樹 間	○ 硬質塩化ビニル管（ ・ VP ○ VU ） ・	洗面器等に直結する排水管は、器具トラップより1サイズアップとする。 樹等の形状、寸法等は鹿児島市機械設備工事「標準施工要領」による。 なお、樹のコンクリート部は工場製品としてもよい。																												
	区 分	使 用 材 料																																									
屋 内 ・ 汚 水 管	・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 WSP O42 ○ 硬質塩化ビニル管 VP（露出部 VC） ・ 耐火二層管																																										
屋 内 ・ 雑排水管	・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 WSP O42 ○ 硬質塩化ビニル管 VP（露出部 VC） ・ 耐火二層管																																										
屋 内 ・ 通 気 管	○ 硬質塩化ビニル管 VP（露出部 VC） ・ 耐火二層管																																										
屋 外 ・ 第 1 樹迄	・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 WSP O42 ○ 硬質塩化ビニル管（ ○ VP ・ VU ）																																										
屋 外 ・ 樹 間	○ 硬質塩化ビニル管（ ・ VP ○ VU ） ・																																										
自動制御設備	1 中央監視制御装置 2 構成その他	・ 本工事 ・ 別途工事 図示による。																																									

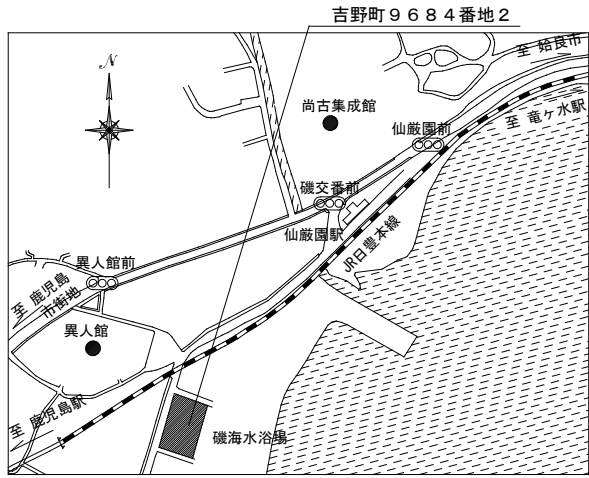
○ 消火設備

●消火設備	1 配管材料	<table><tr><th>種 別</th><th>区 分</th><th>使 用 材 料</th></tr><tr><td rowspan="2">屋内消火栓設備</td><td>一 般</td><td>・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 水配管用亜鉛めっき鋼管 SGP-W</td></tr><tr><td>地中埋設</td><td>・ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 SGP-VS</td></tr><tr><td rowspan="2">屋外消火栓設備</td><td>一 般</td><td>・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 水配管用亜鉛めっき鋼管 SGP-W</td></tr><tr><td>地中埋設</td><td>・ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 SGP-VS</td></tr><tr><td rowspan="2">ｽﾌﾟﾘﾝｸﾞｰ消火設備</td><td>一 般</td><td>・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 水配管用亜鉛めっき鋼管 SGP-W</td></tr><tr><td>ポンプ～制御弁</td><td>・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 水配管用亜鉛めっき鋼管 SGP-W ・ 圧力配管用炭素鋼鋼管（白）Sch40</td></tr><tr><td rowspan="2">連結送水管</td><td>一 般</td><td>・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 水配管用亜鉛めっき鋼管 SGP-W ・ 圧力配管用炭素鋼鋼管（白）Sch40</td></tr><tr><td>地中埋設</td><td>・ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 SGP-VS</td></tr></table>	種 別	区 分	使 用 材 料	屋内消火栓設備	一 般	・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 水配管用亜鉛めっき鋼管 SGP-W	地中埋設	・ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 SGP-VS	屋外消火栓設備	一 般	・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 水配管用亜鉛めっき鋼管 SGP-W	地中埋設	・ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 SGP-VS	ｽﾌﾟﾘﾝｸﾞｰ消火設備	一 般	・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 水配管用亜鉛めっき鋼管 SGP-W	ポンプ～制御弁	・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 水配管用亜鉛めっき鋼管 SGP-W ・ 圧力配管用炭素鋼鋼管（白）Sch40	連結送水管	一 般	・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 水配管用亜鉛めっき鋼管 SGP-W ・ 圧力配管用炭素鋼鋼管（白）Sch40	地中埋設	・ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 SGP-VS	2 消火器	大型消火器（ ・ 本工事 ・ 別途 ） 小型消火器（ ・ 本工事 ・ 別途 ）
	種 別	区 分	使 用 材 料																								
	屋内消火栓設備	一 般	・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 水配管用亜鉛めっき鋼管 SGP-W																								
		地中埋設	・ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 SGP-VS																								
	屋外消火栓設備	一 般	・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 水配管用亜鉛めっき鋼管 SGP-W																								
		地中埋設	・ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 SGP-VS																								
	ｽﾌﾟﾘﾝｸﾞｰ消火設備	一 般	・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 水配管用亜鉛めっき鋼管 SGP-W																								
		ポンプ～制御弁	・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 水配管用亜鉛めっき鋼管 SGP-W ・ 圧力配管用炭素鋼鋼管（白）Sch40																								
	連結送水管	一 般	・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 水配管用亜鉛めっき鋼管 SGP-W ・ 圧力配管用炭素鋼鋼管（白）Sch40																								
		地中埋設	・ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 SGP-VS																								
●ガス設備	① ガス種別	・ ガス事業法に基づく一般ガス（都市ガス 13A（46.04655MJ/m3）） ・ ガス事業法に基づく簡易ガス（液化石油ガス） ○ 上記以外の液化石油ガス ・ 都市ガス及び簡易ガスを使用する場合、図示なき部分の配管材はガス事業者の供給規定による。 ○ 液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律に基づく液化石油ガスを使用する場合は下記による。																									
	② 配管材料	<table><tr><th>区 分</th><th>使 用 材 料</th></tr><tr><td>屋内一般 （露出を除く）</td><td>・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ○ 硬質塩化ビニル外面被覆鋼管（被覆ねじ込み継手）</td></tr><tr><td>屋内露出</td><td>・ 硬質塩化ビニル外面被覆鋼管（被覆ねじ込み継手） ・ ポリエチレン外面被覆鋼管（被覆メカニカル継手）</td></tr><tr><td>地中埋設</td><td>・ ポリエチレン管 ○ ポリエチレン外面被覆鋼管（被覆メカニカル継手）</td></tr></table>			区 分	使 用 材 料	屋内一般 （露出を除く）	・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ○ 硬質塩化ビニル外面被覆鋼管（被覆ねじ込み継手）	屋内露出	・ 硬質塩化ビニル外面被覆鋼管（被覆ねじ込み継手） ・ ポリエチレン外面被覆鋼管（被覆メカニカル継手）	地中埋設	・ ポリエチレン管 ○ ポリエチレン外面被覆鋼管（被覆メカニカル継手）															
	区 分	使 用 材 料																									
	屋内一般 （露出を除く）	・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ○ 硬質塩化ビニル外面被覆鋼管（被覆ねじ込み継手）																									
	屋内露出	・ 硬質塩化ビニル外面被覆鋼管（被覆ねじ込み継手） ・ ポリエチレン外面被覆鋼管（被覆メカニカル継手）																									
	地中埋設	・ ポリエチレン管 ○ ポリエチレン外面被覆鋼管（被覆メカニカル継手）																									
	③ 充てん容器	別途（ ・ 20kg ○ 50kg ）																									
	④ 集合装置	標準図による。（16本組）																									
	⑤ 転倒防止等	標準図の（ ○ （a） ・ （b） ）による。																									
	⑥ ガスメーター	親メーター（ ・ 貨物品 ・ 自己財 ） 子メーター（ ・ 貨物品 ・ 自己財 ）																									
7 ガス漏れ警報機	・ 本工事 ・ 別途工事																										
⑧ 漏洩検知装置	○ 本工事 ・ 別途工事																										
●給湯設備	① 配管材料	<table><tr><th>区 分</th><th>使 用 材 料</th></tr><tr><td rowspan="2">屋 内 一 般</td><td>・ 耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管 SGP-HWA ・ 一般配管用ステンレス鋼鋼管 JIS G 3448 ○ 被覆ステンレス鋼管（呼び径25mm以下） ・ 鋼管（ ・ M ・ L ）</td></tr><tr><td>地 中 埋 設</td><td>・ 耐熱性硬質塩化ビニル管 HT-VP</td></tr></table>			区 分	使 用 材 料	屋 内 一 般	・ 耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管 SGP-HWA ・ 一般配管用ステンレス鋼鋼管 JIS G 3448 ○ 被覆ステンレス鋼管（呼び径25mm以下） ・ 鋼管（ ・ M ・ L ）	地 中 埋 設	・ 耐熱性硬質塩化ビニル管 HT-VP																	
	区 分	使 用 材 料																									
	屋 内 一 般	・ 耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管 SGP-HWA ・ 一般配管用ステンレス鋼鋼管 JIS G 3448 ○ 被覆ステンレス鋼管（呼び径25mm以下） ・ 鋼管（ ・ M ・ L ）																									
		地 中 埋 設	・ 耐熱性硬質塩化ビニル管 HT-VP																								
	2 弁類	図面に明記なき場合は（ ・ JIS10K ・ JIS5K ）																									
	○浄化槽設備	1 届出手続き等 浄化槽法の規定に基づく「浄化槽設置届出書」を所定の時期に鹿児島市浄化槽指導要綱に定める関連図書を添付し、届出を代行すること。 鹿児島市浄化槽法施行細則の規定に基づく浄化槽工事完了検査を受け、検査結果を速やかに監督員に報告すること。 下記の工事を行う場合は、事前に監督員に連絡し、現場立会い検査及び承諾後施工すること。 ・ 位置の決定：あらかじめ設計図の配置に基づいて仮の位置決めを行い承諾を受ける。 ・ 配 筋：配筋終了後、片側仮枠の状態で立会い検査を受ける。 ・ コンクリート打設：コンクリート打設前に各槽の寸法、壁厚等のチェックリストを作成し、承諾を受ける。 ・ 搬入据付け：ユニット形浄化槽の搬入及び据付け時には、槽の規格、型式等の確認及び据付け状態の立会い検査を受ける。 ・ 試験その他：水張り試験（24時間）、その他監督員の指示する試験及び試運転調整等は立会い検査を受ける。																									
	2 中間立会い検査等	試験調整後、所要の時期に浄化槽管理者及び浄化槽管理者が委託した浄化槽管理士など関係者に対し、取扱い説明を十分に行う。 なお、試験調整並びに取扱い説明等に必要な資機材及び労務等を提供し、これに要する費用を負担する。 標準仕様書によるほか、下記品目を備える。 ・ マンホール引手 1組 ・ 消毒薬剤 1式（1回投入分） 原則として、防振ゴム、防振架台等で防振対策を施したものとし、騒音の大きなものは、騒音対策を行う。 図示なき場合は下記による。ただし、ユニット形で図示なき場合は、製造者の標準仕様とする。 (1) 防 臭 蓋：鉄製耐圧型（SHASE-S、安全荷重 14,700N）以上 なお、蓋は錠付又はステンレス製ボルト固定式とする。 (2) 鋼板製蓋：板厚4.5mm以上の鋼鋼板に溶融亜鉛めっきを施したもの又はステンレス鋼鋼板（SUS 304）製で、取手又は取手取付穴付きとし、1人で開閉できる重量に分割加工する。なお、蓋はステンレス製ボルト固定式とする。 (3) 浄化槽法に基づく型式認定品とするが、あらかじめ使用する機種の認定シート等の関連図書を提出し、監督員の承諾を得ること。 (4) 開閉の機器寸法は参考寸法とする。 (5) 保護工作物が別途工事の場合においては、保護工作物の施工業者と収まり等について、十分に打ち合わせを行うこと。 使用する機種が別途保護工作物内に収まらず、工作物の寸法を変更する必要がある場合は、変更に関わる全ての費用を本工事で負担する。 槽内の支持金物及びボルト・ナット類は全てステンレス鋼製（SUS304）とする。																									
	3 取扱い説明等																										
	4 付属品等																										
	5 送風機																										
6 点検口蓋																											
7 ユニート型浄化槽																											
8 支持金物等																											

磯ビーチハウス内部改修給排水衛生その他設備工事		
特記仕様書(2)	No Scale	2
鹿児島市建設局建築部設備課		全 22

磯ピーチハウス内部改修給排水衛生その他設備工事		
特記仕様書(2)	No Scale	2
鹿児島市建設局建築部設備課		全 22

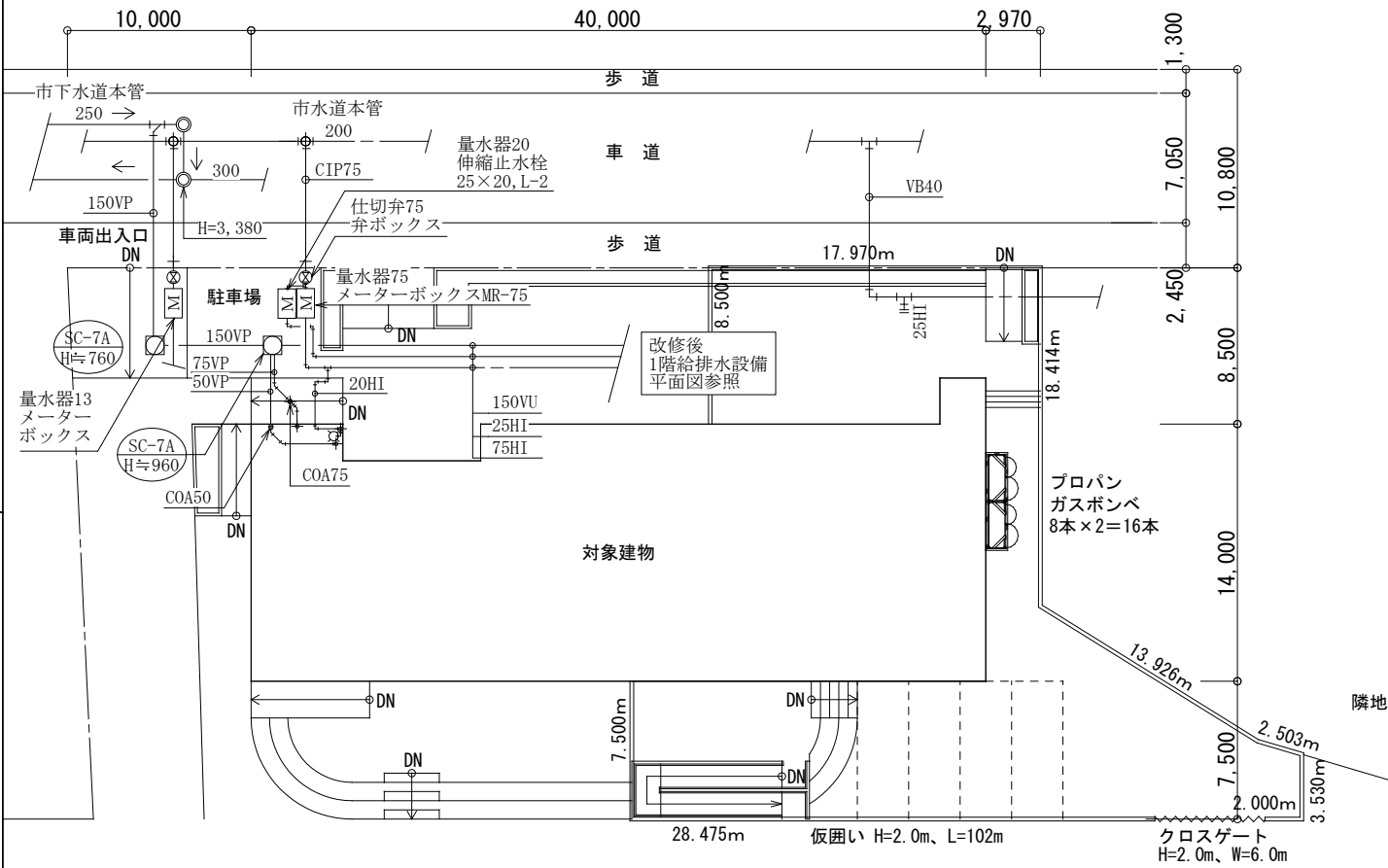
石綿含有保温材等及び石綿含有成形板等除去特記事項		Ⅱ. 石綿含有保温材等の撤去等 ○印の付いた「番号」「・」の項目を適用する		Ⅳ. 石綿含有仕上塗材の撤去等 ○印の付いた「番号」「・」の項目を適用する	
Ⅰ. 共通事項 ○印の付いた「番号」「・」の項目を適用する		1. 関係機関 協議・届出 法令等に基づき、撤去工事に必要な関係機関との協議及び届出を速やかに行うこと。 (労働基準監督署、鹿児島市環境保全課等)		1. 撤去作業	
① 石綿含有対象建材	本工事に係る石綿含有建材は次のとおりとする。 但し、事前調査を行い、新たに石綿含有が確認された場合や含有が疑われる場合は、速やかに監督員に報告を行い適切に処理すること。 石綿含有建材の有無 ・ 有 ○ 無 ・ その他 ( ) 石綿含有建材の種別 ・ 石綿含有保温材等          ・ 石綿含有成形板等          ・ 石綿含有仕上塗材	2. 撤去作業		・ 石綿含有仕上塗材の撤去 石綿含有仕上塗材の撤去は、原則として飛散防止のために十分な集塵機能を有する電動工具を用いる方法とする。 (1) 撤去方法 ・ 穿孔 ① 十分な集塵機能を有する電動工具を適切に使用し穿孔すること。 ② 撤去後は、高性能真空掃除機 (HEPAフィルター付き) にて清掃すること。 ③ 作業にあたっては呼吸用保護具 (使い捨て式防塵マスク不可)、保護メガネ、手袋、専用の作業衣を着用すること。 ・ コア抜き (ダイヤモンドカッターによる) ① コア抜き作業により影響を受ける石綿含有仕上塗材を撤去する。十分な集塵機能を有する電動工具を適切に使用しコア抜きすること。 ② 撤去後は、高性能真空掃除機 (HEPAフィルター付き) にて清掃すること。 ③ 作業にあたっては呼吸用保護具 (使い捨て式防塵マスク不可)、保護メガネ、手袋、専用の作業衣を着用すること。 (2) 処分方法 ① 回収した仕上塗材は、プラスチック袋等で二重に梱包し密封した上で運搬、廃棄を行うこと。 ② マニフェスト票の備考欄に「石綿含有仕上塗材」であることを明示し、適正に処分すること。	
	大気汚染防止法、労働安全衛生法、石綿障害予防規則、労働安全衛生規則、廃棄物の処理及び清掃に関する法律その他関係法令を遵守すること。 また国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修の次の図書についても遵守すること。 (1) 公共建築改修工事標準仕様書 (機械設備工事編) (2) 公共建築改修工事標準仕様書 (電気設備工事編) (3) 公共建築改修工事標準仕様書 (建築工事編) (4) 建築物解体工事共通仕様書・同解説	・ 石綿含有成形保温材付き配管の撤去 成形保温材付き配管の撤去は、原則として切断による方法とする。 (1) 撤去方法 ① 配管の切断に先立ち、飛散防止措置として成形保温材に飛散抑制剤の塗布を施すとともに、成形保温材前後の保温材を撤去する。 ② ビニールシート等で成形保温材を包み、配管表面でテープ止めとし、密閉する。 ③ 配管の切断は、密閉部分の両側約 1 0 0 mm の箇所において慎重に行う。 ④ 撤去後は、高性能真空掃除機 (HEPAフィルター付き) にて清掃すること。 ⑤ 作業にあたっては呼吸用保護具 (使い捨て式防塵マスク不可)、保護メガネ、手袋、専用の作業衣を着用すること。 (2) 処分方法 ① 撤去した成形保温材付き配管は、プラスチック袋等で二重に梱包し密封した上で、特別管理産業廃棄物であることを表示し、構外搬出処理とする。 ② マニフェスト票の備考欄に「廃石綿」であることを明示し、適正に処分すること。		・ 石綿含有有仕上塗材の撤去 石綿含有有仕上塗材の撤去は、原則として飛散防止のために十分な集塵機能を有する電動工具を適切に使用しコア抜きすること。 (1) 撤去方法 ① 十分な集塵機能を有する電動工具を適切に使用し穿孔すること。 ② 撤去後は、高性能真空掃除機 (HEPAフィルター付き) にて清掃すること。 ③ 作業にあたっては呼吸用保護具 (使い捨て式防塵マスク不可)、保護メガネ、手袋、専用の作業衣を着用すること。 (2) 処分方法 ① 回収した仕上塗材は、プラスチック袋等で二重に梱包し密封した上で運搬、廃棄を行うこと。 ② マニフェスト票の備考欄に「石綿含有有仕上塗材」であることを明示し、適正に処分すること。	
② 関係法令の遵守	大気汚染防止法、労働安全衛生法、石綿障害予防規則、労働安全衛生規則、廃棄物の処理及び清掃に関する法律その他関係法令を遵守すること。 また国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修の次の図書についても遵守すること。 (1) 公共建築改修工事標準仕様書 (機械設備工事編) (2) 公共建築改修工事標準仕様書 (電気設備工事編) (3) 公共建築改修工事標準仕様書 (建築工事編) (4) 建築物解体工事共通仕様書・同解説				
③ 事前調査	施工に先立ち改修、解体等の対象建材について石綿等使用の状況を監督員に確認した上で事前調査を行うこと。なお、建築物及び令和 8 年 1 月以降に着工する工物に係る事前調査は、適切に当該調査を実施するために必要な知識を有する者として厚生労働大臣及び環境大臣が定める者が行うこと。 また、法令に基づき速やかにその結果を鹿児島市環境保全課及び労働基準監督署に報告すること。報告は、原則として石綿事前調査報告システムから電子申請で行うこと。 さらに、監督員に書面で別途説明すること。 建築物の構造上、解体等工事に着手する前に目視することができない箇所にあつては、解体等工事に着手した後に目視が可能となった時点で調査を行い、再度報告及び説明を行うこと。 (1) 事前調査の結果に基づき、施工計画書 (作業管理組織図、作業方法、揭示方法、産業廃棄物処理方法) を作成して監督員に提出すること。 (2) 施工計画にあたり、令和 3 年 3 月厚生労働省及び環境省作成「建築物等の解体等に係る石綿ばく露防止及び石綿飛散漏えい防止対策徹底マニュアル」及び令和 3 年 3 月環境省作成「石綿含有廃棄物等処理マニュアル (第 3 版)」を参考とすること。 (3) 作業従事者及び施設利用者等の安全に配慮するとともに、施設利用者等の活動に支障が生じないように留意すること。 (4) 使用器具・機械類等は、石綿含有建材の撤去等に必要で適切な工具・機器類等であること。	Ⅲ. 石綿含有成形板等の撤去等 ○印の付いた「番号」「・」の項目を適用する		・ 石綿含有天井材の撤去 天井材の撤去は、原則として原形のまま取り外すこと。ただし、原形のまま取り外すことが技術上著しく困難で、切断を伴う撤去等を行う場合は、十分な飛散防止措置を講ずること。 (1) 撤去方法 ・ 切断等によらない撤去 ① 対象の石綿含有成形板は、撤去部を湿潤な状態とした後「手ばらし」により、破壊や粉砕しないように処理すること。 ② 撤去後は、高性能真空掃除機 (HEPA フィルター付き) にて清掃すること。 ③ 作業にあたっては呼吸用保護具 (使い捨て式防塵マスク不可)、保護メガネ、手袋、専用の作業衣を着用すること。 ④ 撤去等を行うにあたり建材の大きな割れや破損による石綿繊維の飛散が想定される場合は、監督員と協議の上、必要に応じて湿潤化や隔離養生、局所集じん機の使用等の措置を講ずること。 ・ 切断等による撤去等 ① 対象の石綿含有成形板は、撤去部を湿潤な状態とした後、切断等の処置を行うこと。また、切断等の範囲が最小限となるように施工すること。 ② 作業箇所は、施工区画として側面 4 面を養生シート等で覆い、飛散防止に努めること。但し、穿孔を行う際は、十分な集じん機能を有する局所集じん装置を使用し、飛散防止とすること。 ③ 残った切断部断面には、切断箇所から石綿が飛散することのないよう、飛散防止措置を講ずること。 ④ 撤去後は、高性能真空掃除機 (HEPA フィルター付き) にて清掃すること。 ⑤ 作業にあたっては呼吸用保護具 (使い捨て式防塵マスク不可)、保護メガネ、手袋、専用の作業衣を着用すること。	
4. 施工計画	(1) 事前調査の結果に基づき、施工計画書 (作業管理組織図、作業方法、揭示方法、産業廃棄物処理方法) を作成して監督員に提出すること。 (2) 施工計画にあたり、令和 3 年 3 月厚生労働省及び環境省作成「建築物等の解体等に係る石綿ばく露防止及び石綿飛散漏えい防止対策徹底マニュアル」及び令和 3 年 3 月環境省作成「石綿含有廃棄物等処理マニュアル (第 3 版)」を参考とすること。 (3) 作業従事者及び施設利用者等の安全に配慮するとともに、施設利用者等の活動に支障が生じないように留意すること。 (4) 使用器具・機械類等は、石綿含有建材の撤去等に必要で適切な工具・機器類等であること。			・ 石綿含有配管フランジ用パッキンの撤去 配管のフランジ部の撤去は、原則として切断による方法とする。 (1) 撤去方法 ① 配管の切断は、フランジ部分の両側約 1 0 0 mm の箇所において慎重に行う。 ② 撤去後は、高性能真空掃除機 (HEPA フィルター付き) にて清掃すること。 ③ 作業にあたっては呼吸用保護具 (使い捨て式防塵マスク不可)、保護メガネ、手袋、専用の作業衣を着用すること。 (2) 処分方法 ① 撤去したフランジ付配管は、さらなる切断や破砕は行わず、撤去した原形のまま運搬、廃棄を行うこと。 ② マニフェスト票の備考欄に「石綿含有成形品」であることを明示し、適正に処分すること。	
⑤ 揭示	(1) 大気汚染防止法、石綿障害予防規則に定められた事項を揭示板により公衆及び作業員の見やすい箇所に掲示すること。 (2) 必要に応じて周辺住民等へ掲示等で周知すること。			・ 石綿含有有仕上塗材の撤去 石綿含有有仕上塗材の撤去は、原則として飛散防止のために十分な集塵機能を有する電動工具を適切に使用しコア抜きすること。 (1) 撤去方法 ① 十分な集塵機能を有する電動工具を適切に使用し穿孔すること。 ② 撤去後は、高性能真空掃除機 (HEPA フィルター付き) にて清掃すること。 ③ 作業にあたっては呼吸用保護具 (使い捨て式防塵マスク不可)、保護メガネ、手袋、専用の作業衣を着用すること。 (2) 処分方法 ① 回収した仕上塗材は、プラスチック袋等で二重に梱包し密封した上で運搬、廃棄を行うこと。 ② マニフェスト票の備考欄に「石綿含有有仕上塗材」であることを明示し、適正に処分すること。	
6. 作業者	(1) 石綿障害予防規則に定める「石綿作業主任者」が作業管理者となり、その作業管理者の指示に従って作業すること。 (2) 作業者は、就業時に石綿障害予防規則に基づく特別の教育を受けた者とする。			・ 石綿含有有仕上塗材の撤去 石綿含有有仕上塗材の撤去は、原則として飛散防止のために十分な集塵機能を有する電動工具を適切に使用しコア抜きすること。 (1) 撤去方法 ① 十分な集塵機能を有する電動工具を適切に使用し穿孔すること。 ② 撤去後は、高性能真空掃除機 (HEPA フィルター付き) にて清掃すること。 ③ 作業にあたっては呼吸用保護具 (使い捨て式防塵マスク不可)、保護メガネ、手袋、専用の作業衣を着用すること。 (2) 処分方法 ① 回収した仕上塗材は、プラスチック袋等で二重に梱包し密封した上で運搬、廃棄を行うこと。 ② マニフェスト票の備考欄に「石綿含有有仕上塗材」であることを明示し、適正に処分すること。	
7. 保管	(1) 現場に保管する場合は、一定の保管場所を定め、ほかの建設副産物等と分別して保管し、シート等で覆うなど、飛散防止措置を講ずること。 (2) 保管場所には、廃石綿等の保管場所であることの表示を行うこと。			・ 石綿含有有仕上塗材の撤去 石綿含有有仕上塗材の撤去は、原則として飛散防止のために十分な集塵機能を有する電動工具を適切に使用しコア抜きすること。 (1) 撤去方法 ① 十分な集塵機能を有する電動工具を適切に使用し穿孔すること。 ② 撤去後は、高性能真空掃除機 (HEPA フィルター付き) にて清掃すること。 ③ 作業にあたっては呼吸用保護具 (使い捨て式防塵マスク不可)、保護メガネ、手袋、専用の作業衣を着用すること。 (2) 処分方法 ① 回収した仕上塗材は、プラスチック袋等で二重に梱包し密封した上で運搬、廃棄を行うこと。 ② マニフェスト票の備考欄に「石綿含有有仕上塗材」であることを明示し、適正に処分すること。	
8. 運搬	(1) 石綿含有建材の廃材を高所から移動する場合は、揚重機を使用して、高所より投下しないこと。 (2) 石綿含有建材の廃材の集積、積み込みに当たっては、廃棄物の積み替え移動回数を最小限にすること。 (3) 石綿含有建材の廃材の運搬車及び運搬容器は、当該建材等が飛散及び流出するおそれのないものとする。 (4) 運搬車両の荷台に覆いをかけるなど、飛散防止措置を講ずること。			・ 石綿含有有仕上塗材の撤去 石綿含有有仕上塗材の撤去は、原則として飛散防止のために十分な集塵機能を有する電動工具を適切に使用しコア抜きすること。 (1) 撤去方法 ① 十分な集塵機能を有する電動工具を適切に使用し穿孔すること。 ② 撤去後は、高性能真空掃除機 (HEPA フィルター付き) にて清掃すること。 ③ 作業にあたっては呼吸用保護具 (使い捨て式防塵マスク不可)、保護メガネ、手袋、専用の作業衣を着用すること。 (2) 処分方法 ① 回収した仕上塗材は、プラスチック袋等で二重に梱包し密封した上で運搬、廃棄を行うこと。 ② マニフェスト票の備考欄に「石綿含有有仕上塗材」であることを明示し、適正に処分すること。	
9. 後片付け	(1) シート等により区画、隔離した場合において、作業に使用した工具、足場等は付着した石綿を除去した後、作業場外へ持ち出すこと。 また、作業衣及び呼吸用保護具も、廃棄のために袋に入れた場合以外は、付着した石綿を除去した後、作業場外へ持ち出すこと。 (2) 区画、隔離養生に用いたシート等を再使用する際は、区画、養生を片付ける前に高性能真空掃除機等により付着した粉じんを除去すること。 (3) 区画、隔離等に用いたシート等を処分する際は、石綿繊維等粉じん付着面を内側に折りたたんだ後に密封処理を行い、石綿含有建材同様の処理を行うこと。			・ 石綿含有有仕上塗材の撤去 石綿含有有仕上塗材の撤去は、原則として飛散防止のために十分な集塵機能を有する電動工具を適切に使用しコア抜きすること。 (1) 撤去方法 ① 十分な集塵機能を有する電動工具を適切に使用し穿孔すること。 ② 撤去後は、高性能真空掃除機 (HEPA フィルター付き) にて清掃すること。 ③ 作業にあたっては呼吸用保護具 (使い捨て式防塵マスク不可)、保護メガネ、手袋、専用の作業衣を着用すること。 (2) 処分方法 ① 回収した仕上塗材は、プラスチック袋等で二重に梱包し密封した上で運搬、廃棄を行うこと。 ② マニフェスト票の備考欄に「石綿含有有仕上塗材」であることを明示し、適正に処分すること。	
10. 作業の結果の報告	除去作業が完了したときは、その結果を遅滞なく監督員へ書面で報告すること。			・ 石綿含有有仕上塗材の撤去 石綿含有有仕上塗材の撤去は、原則として飛散防止のために十分な集塵機能を有する電動工具を適切に使用しコア抜きすること。 (1) 撤去方法 ① 十分な集塵機能を有する電動工具を適切に使用し穿孔すること。 ② 撤去後は、高性能真空掃除機 (HEPA フィルター付き) にて清掃すること。 ③ 作業にあたっては呼吸用保護具 (使い捨て式防塵マスク不可)、保護メガネ、手袋、専用の作業衣を着用すること。 (2) 処分方法 ① 回収した仕上塗材は、プラスチック袋等で二重に梱包し密封した上で運搬、廃棄を行うこと。 ② マニフェスト票の備考欄に「石綿含有有仕上塗材」であることを明示し、適正に処分すること。	



### 工事概要

- 本工事は、施設の内部改修に伴う下記設備工事を行う。
1. 給排水設備
  2. 給湯設備
  3. ガス設備
  4. 換気設備
  5. 空調設備
  6. 屋外給排水設備改修
  7. 既設対象設備、配管の撤去

付近見取図 NO. SCALE



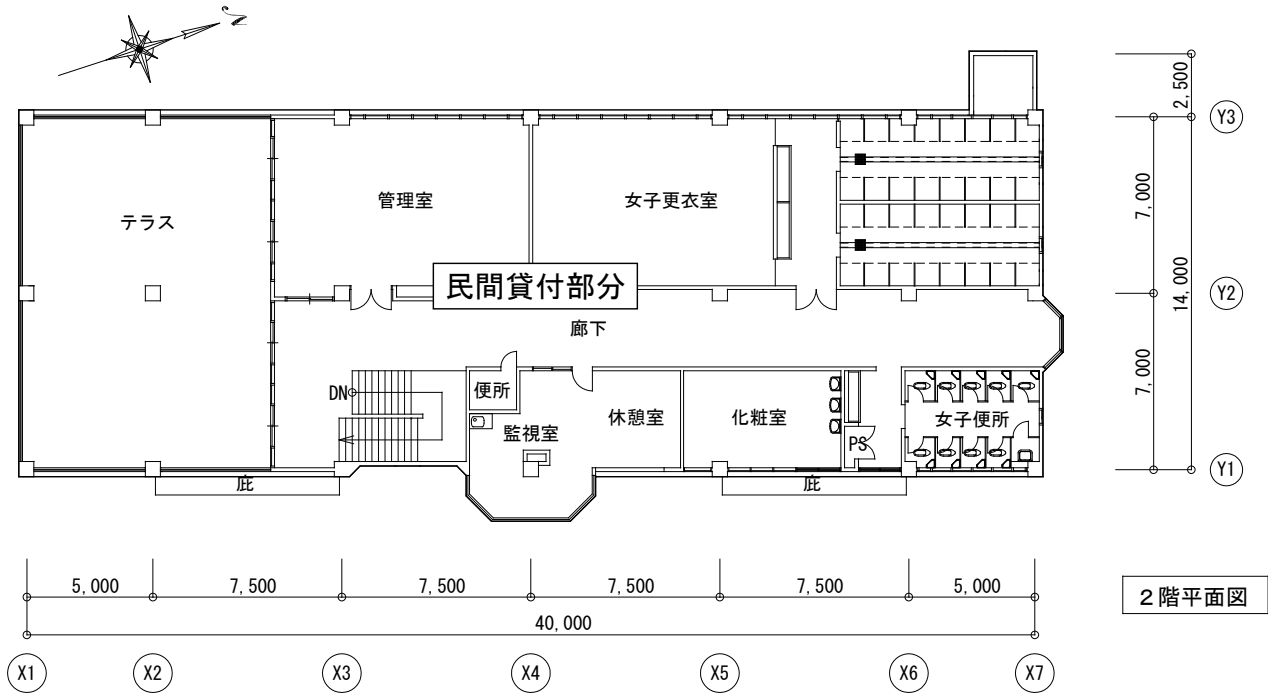
民間貸付部分

(別途建築工事)

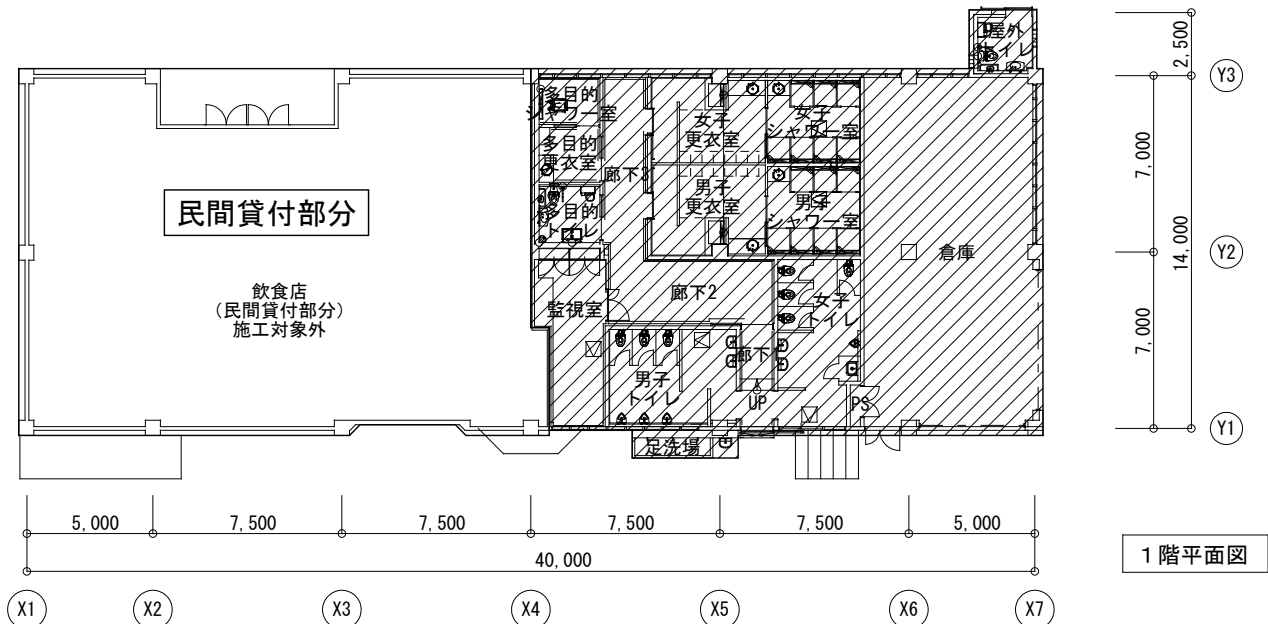
- 鉄板仮囲い : H=2,000  
クロスゲート : H=2,000

磯海水浴場 (河川港湾課)

配置図 S=1/400



2階平面図



1階平面図

平面図 S=1/300

…工事範囲

工事区分表

施 工 項 目		機械設備	電気設備	建 築	別途関連業者	備 考
屋 内	天井改修(撤去含む)			○		
	天井点検口及び開口補強			○		
	同上位置の指示	○	○			
	分電盤・照明器具・弱電機器の取付		○			
	同上開口部の墨出し及び開口		○			
	同上開口部の下地補強			○		
	換気扇・壁有圧扇	○				
	同上開口及び開口補強			○		
	同上電源及びスイッチ		○			
	同上屋内配線配管及びボックス		○			
	空調換気扇用スイッチ及び制御線	○				
	同上屋内配線用配管及びボックス		○			
	衛生器具・トイレ手すり・鏡・有料シャワー	○				
	同上補強裏板			○		
	シャワーブース・廊下手すり			○		
	洗面カウンター			○		
	壁付衛生器具周りのシーリング	○				
	汚物流し側板	○				
	衛生機器用電源		○			
	同上屋内配線配管及びボックス		○			
	洗浄用受信ユニット・タッチスイッチの取付用ボックス及び配線	○				
	同上ボックス間の渡り配管		○			
	コア抜き	○	○			
	同上穴補修	○	○			
	消火器ボックス			○		※消火器・スタンドは備品
撤 去 改 修	倉庫天井撤去			○		
	既設衛生器具、既設換気扇、既設配管撤去	○				
	既設和風大便器撤去後のスラブ開口穴埋め補修(配筋共)			○		
	既設衛生器具、配管撤去後の穴埋め			○		
	1階土間はつり復旧			○		
	行政財産部分の機械・電気設備の撤去・改修	○	○			
	窓→アルミハネル改修	○				
	既設便所手洗い撤去(躯体)			○		
	身障者用トイレ手すり撤去	○				
	身障者用シャワー室手すり撤去			○		
屋 外	アスファルトはつり復旧	○				
	ガスタンク庫	○				
	設備機器用の基礎	○				
	屋外フェンス	○				
	沈砂槽	○				
そ の 他	電気・通信に伴う建物への引込工事				○	※電気・通信供給業者
	電気に伴う電力供給業者への申請所作成代行		○			
	通信に伴う通信供給業者への申請書作成				○	※施設管理者
	防災設備に伴う計画書及び申請書作成代行		○	○	○	
	量水器設置				○	※民間貸付部分
	民間貸付部分への渡り電気配管配線の撤去				○	※民間貸付部分
	行政財産部分と民間貸付部分の防火区画に伴う貫通処理				○	※民間貸付部分

特記事項

1. 本工事着手前に現地調査を十分に行い、使用中の施設との取り合いを配慮し、施設運営に支障をきたさないように  
施工計画を作成し、監督員の承諾を得た後、安全対策に万全を期して施工すること。
2. 本工事の施工にあたり、監督員及び施設管理者と十分協議して実施工程表を作成し、作業を行うこと。  
また、断水や騒音などにより施設の運営に支障をきたさないように留意すると共に、安全対策に万全を期すこと。
3. 既存部分を使用しながらの工事であることから、建物使用者の危害防止等には十分な安全・防災対策を立て、施設管理者  
とも協議すること。また、作業員等に工事作業区域外に立ち入らないように徹底させること。
4. 工事施工に先立ち、工事の支障となる機器又は移動すべき機器等が発生した場合は、施設管理者と協議すること。
5. 工事期間中は安全対策に努めると共に、火気にも十分注意して作業すること。また、粉じん等の発生についても十分留  
意し、養生を確実にに行い作業すること。
6. 工事期間中に休日及び時間外作業をする場合は、事前に施設に連絡し承諾を得たのちに作業すること。
7. 工事現場事務所、材料置場及び作業車両の駐車スペースについては施設と協議すること。また、敷地内の車両走行につい  
ては、施設使用者の安全を確保し、必ず徐行すること。
8. 工事中に範囲外の部分を破損または汚損した場合は、監督員・施設と協議し原形復旧を行うこと。
9. 高所での作業時は、墜落防止用器具等を着用し、安全対策を実施すること。
10. 掘削作業に着手する際は、既設埋設管（特に電気配管・配線）を調査し十分注意して施工すること。また、屋外埋設管  
については、既設配管の分岐を確認し、不明配管が発生した場合は監督員と協議を行うこと。
11. はつり工事のときは、既設の打込み配管等に十分注意して施工を行うこと。また、原則として原形復旧すること。
12. 工事期間中は、防災・防犯関係が無警戒にならないように措置すること。また、作業員等に工事作業区域外に立ち入らな  
いように徹底させること。必要に応じて、未警戒範囲の対処について所轄消防署と事前打合せを行うこと。
13. 別途工事との取り合いは他業者と綿密に打合せの上、施工すること。
14. 工事に伴う発生材処理については〔廃棄物の処理及び清掃に関する法律〕及び〔再生資源の利用促進に関する法律〕等の  
関係法規に基づき、適正に処理すると共に、マニフェストシステムを適用して管理を行うこと。
15. 施工に伴い必要となる届出や手続きについては、関係機関と協議の上、適切に行うこと。
16. 機器等の調達遅延を含め、受注者の責めによらない事由により、工程に影響が生じる場合には、工事の一時中止や工期  
延長について発注者と協議すること。なお、工事を全面的に一時中止している期間は、監理技術者等の選任を要しない  
期間とする。
17. その他、施工や工程等に問題が発生した場合は速やかに監督員に連絡、協議を行うこと。
18. 工事を行う際、民間側機器などが支障になる場合は、監督員に報告し、対応を協議すること。

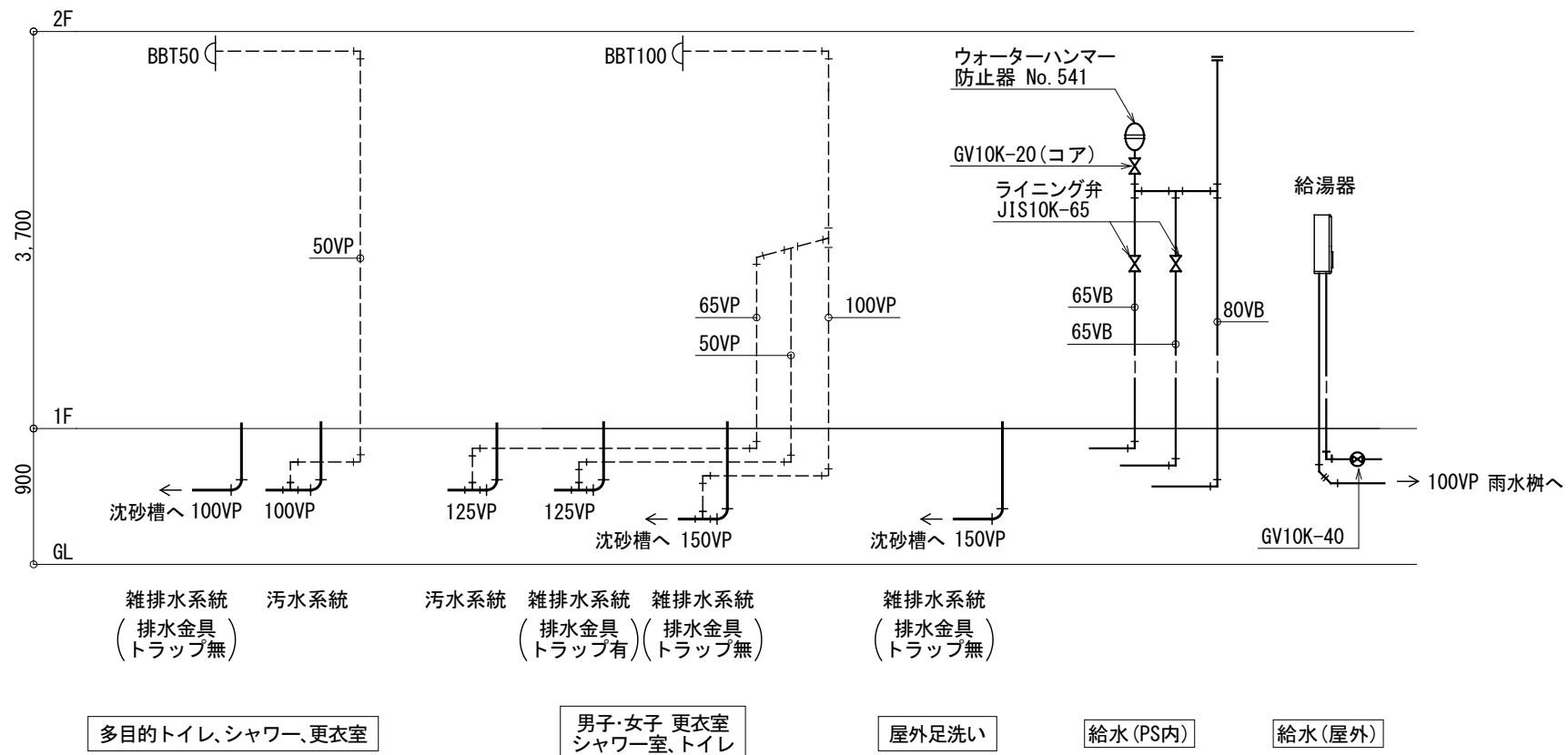


器具明細表

品 名	規 格 品 番 附 属 品 及 び そ の 他		管 理 諸 室										合 計
	TOTO	LIXIL	男子トイレ	女子トイレ	多目的トイレ	男子更衣室	女子更衣室	多目的シャワールーム	多目的更衣室	屋外トイレ	足洗い場	屋 外	
洋風大便器 自動フラッシュバルブ式 温水洗浄便座(蓋なし) タッチスイッチ(エコリモコン) 棚付二連紙巻器 壁給水 汚物入れ	CFS494NRNA TCF5831ADYR YH702	—	3	4									7
洋風大便器 自動フラッシュバルブ 温水洗浄便座(蓋なし) タッチスイッチ(エコリモコン) 棚付二連紙巻器 SUS製汚物入れ	C480AN TEFV75UA TCF5841PR TES47UR (100V) YH702 YKB104	C-P15HK OKC-AT681 CW-PC12L-NECK-STG OKC-8BY CF-AA64S KF-44			1								1
洋風大便器 密結タンク 温水洗浄便座(蓋なし) タッチスイッチ(エコリモコン) 棚付二連紙巻器 SUS製汚物入れ	CS20AB SH30BA TCF5841PR TCA578 YH702 YKB104	BC-220SK DT-K250 CW-PC12L-NECK-STG CWA-201PJ CF-AA64S KF-44								1			1
壁掛小便器 低リップ形 自動洗浄	UFS900R (100V)	U-A51AP (100V)	3										3
幼児用小便器 手すり フラッシュバルブ式	U310GY T601P	U-401R UF-3J KF-AA910CE40		1									1
はめ込み式洗面器(アンダーカウンター式) 自動水栓(単水栓)	L530 TLE28SS1A (100V)	L-2260 AM-300CV1 (100V)				2	2	1					5
壁掛洗面器 自動水栓(単水栓)	L270D TLE28SS1A (100V) T6BMP	L-275AN AM-300CV1 (100V) LF-105PA	2	2	1					1			6
壁掛洗面器 自閉水栓(オートストップ)	L210D TL19AR	L-132AG LF-P02B									1		1
手洗器 自動水栓	LSE570APS (100V)	AWL-71U2AM (P) (100V)			1					1			2
バック付き掃除流し	SK22A TK22 T23AEQ20C TN114 T9R T37SGEP	S-202A LF-7KE-19-U SF-20SAF-P SF-10E SF-202		1									1
コンパクトオストメイトバック	UAS81R (L) NB2NW UTR141 (100V)	PTOM-B210 PTOM-ESCR (100V)			1					1			2
耐食鏡 盗難防止 450×600	YM4560FE	KF-4560A	2	2		2	2						8
耐食鏡 盗難防止 450×900	TM4560FEトク	KF-W450H900A			1			1	1				3
手すり L型 (L=700) 樹脂被覆タイプ	T112CL10	KF-H920AER (L) 70D12J	3	4									7
小便器用手すり 樹脂被覆タイプ	T112CU22	KF-701AEJ	1										1
多目的用大便器用手すり L型 樹脂被覆タイプ	T112CL11	KF-926AE80D25J			1					1			2
多目的用大便器用手すり はね上げ型 樹脂被覆タイプ	T112HK8R	KF-471EH70JU			1					1			2
ベビーチェア	YKA16S	AC-BK-F62			1								1
ベビーシート	YKA25N	AC-OK-21F			1								1
サーモスタット式シャワー金具	—	BF-KA20U-13				7	7	1					15
自閉水栓 (オートストップ)	TL19	LF-P02				1	1				3		5
キー式ホーム水栓 (F7)	T200CSNR13	LF-7RG-13-U										1	1
水栓柱 (VB内蔵) H=1200												1	1
壁掛型ガス給湯器 (潜熱回収型)	本体操作型ダイレクト着火方式32号 配管カバー (H=450 重耐塩仕様) 高効率燃焼タイプ 重耐塩仕様 逆止弁付ボール止水栓15×15 接続フレキ管×2 強化ガスホース ハンドコック20 絶縁継手 検圧プラグ											7	7
壁掛型ガス給湯器 (潜熱回収型)	本体操作型ダイレクト着火方式16号 配管カバー (H=450 重耐塩仕様) 高効率燃焼タイプ 重耐塩仕様 逆止弁付ボール止水栓15×15 接続フレキ管×2 強化ガスホース ハンドコック20 絶縁継手 検圧プラグ											1	1

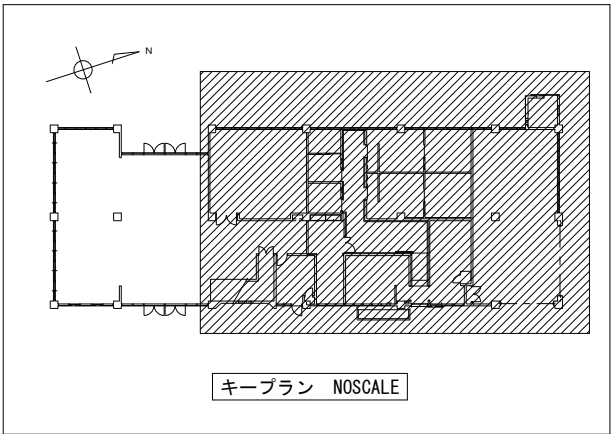
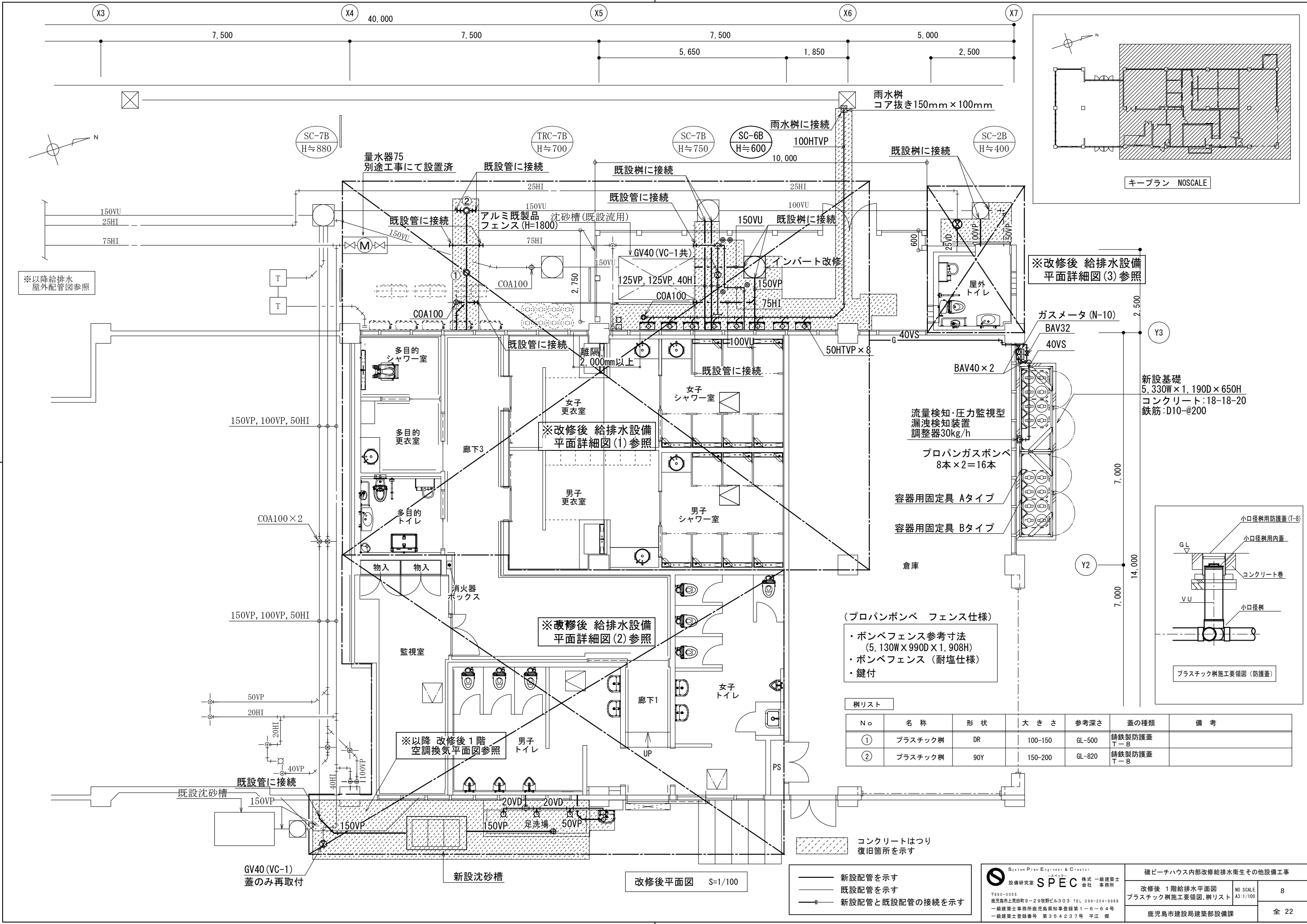
機器明細表

記号	名称	機器仕様	電源		電気容量 KW	数量	設置場所	備考
			φ	V				
SW 1	コイン式シャワー	型 式：パネル式屋内型 コーナータイプ	1	100	0.03	14	男子シャワー室	
		機 能：フロースイッチ仕様、コイン現金式、残時間デジタル表示					女子シャワー室	
		付属品：固定式シャワーヘッド						
SW 2	コイン式シャワー	型 式：パネル式屋内型 平型タイプ	1	100	0.03	1	多目的シャワー室	
		機 能：フロースイッチ仕様、コイン現金式、残時間デジタル表示						
		付属品：固定式シャワーヘッド						



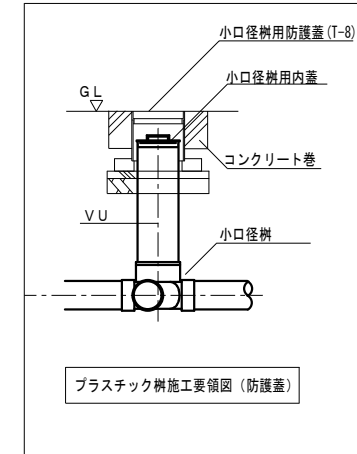
管種仕様区分表				
名 称	記 号	使 用 区 分	管 種	備 考
給 水 管	—— — HI	地中埋設・屋外土間	水道用耐衝撃性硬質塩化ビニル管	HIVP
	—— — VD	屋内土間・ビット内・面台内	内外面硬質塩化ビニルライニング鋼管	SGP-VD
	—— — VB	屋内一般	内面硬質塩化ビニルライニング鋼管	SGP-VB
排 水 管	—— — VP	屋内一般・屋内土間・地中埋設・屋外土間・ビット内	硬質ポリ塩化ビニル管	VP
	—— — VU	地中埋設（樹間）	硬質ポリ塩化ビニル管	VU
給湯器ドレン	—— — HTVP	屋内一般・屋外土間	耐熱硬質ポリ塩化ビニル管	HTVP
通 気 管	—— — VP	屋内一般・ビット内	硬質ポリ塩化ビニル管	VP
ガ ス 管	—— g —— VS	屋外土間・屋外露出・屋内露出	硬質塩化ビニル外面被覆鋼管	SGP-VS
給 湯 管	——   ——	屋内一般・ビット内・屋外露出・面台内	被覆ステンレス鋼管	SUS
給水給湯 ミキシング管	—— △ ——	面台内	被覆ステンレス鋼管	SUS
地中埋設標	⊙	屋外（舗装部分）、キャッツアイ		
コア貫き	▨			鉄筋探査を行うこと。 梁貫通はしないこと。
既設コア流用	⊠			

保温・防食・塗装区分表					
施 工 箇 所	給 水	排 水	通 気	給 湯	ガ ス
屋 外 土 間	C (HI)	C (VP)	—	—	C (VS)
屋 内 土 間	C (VD)	C (VP)	C (VP)	—	C (VS)
ビ ッ ト 内	C (VD)	C (VP)	C (VP)	C (SUS)	—
天 井 内	—	—	C (VP)	C (SUS)	—
P S 内	A (VB)	A (VP)	C (VP)	—	—
面 台 内	C (VD)	C (VP)	—	C (SUS)	—
屋 外 露 出	A (VB)	C (VP)	—	F (SUS)	—
屋 内 露 出	—	—	—	—	C (VS)
凡 例	A：特記仕様書により施工 B：保温チューブ巻（給湯用は耐熱性） C：保温・塗装なし——配管材料は凡例参照 D：防蝕テープ巻——特記仕様書により施工 E：塗装——特記仕様書により施工 F：ステンレスラッキング				



※改修後 給排水設備  
平面詳細図(3)参照

新設基礎  
5,330W×1,190D×650H  
コンクリート:18-18-20  
鉄筋:D10-@200



(プロパンボンベ フェンス仕様)

- ・ボンベフェンス参考寸法  
(5,130W×990D×1,908H)
- ・ボンベフェンス(耐塩仕様)
- ・鍵付

樹リスト

No	名称	形状	大きさ	参考深さ	蓋の種類	備考
①	プラスチック樹	DR	100-150	GL-500	鋳鉄製防護蓋 T-8	
②	プラスチック樹	90Y	150-200	GL-820	鋳鉄製防護蓋 T-8	

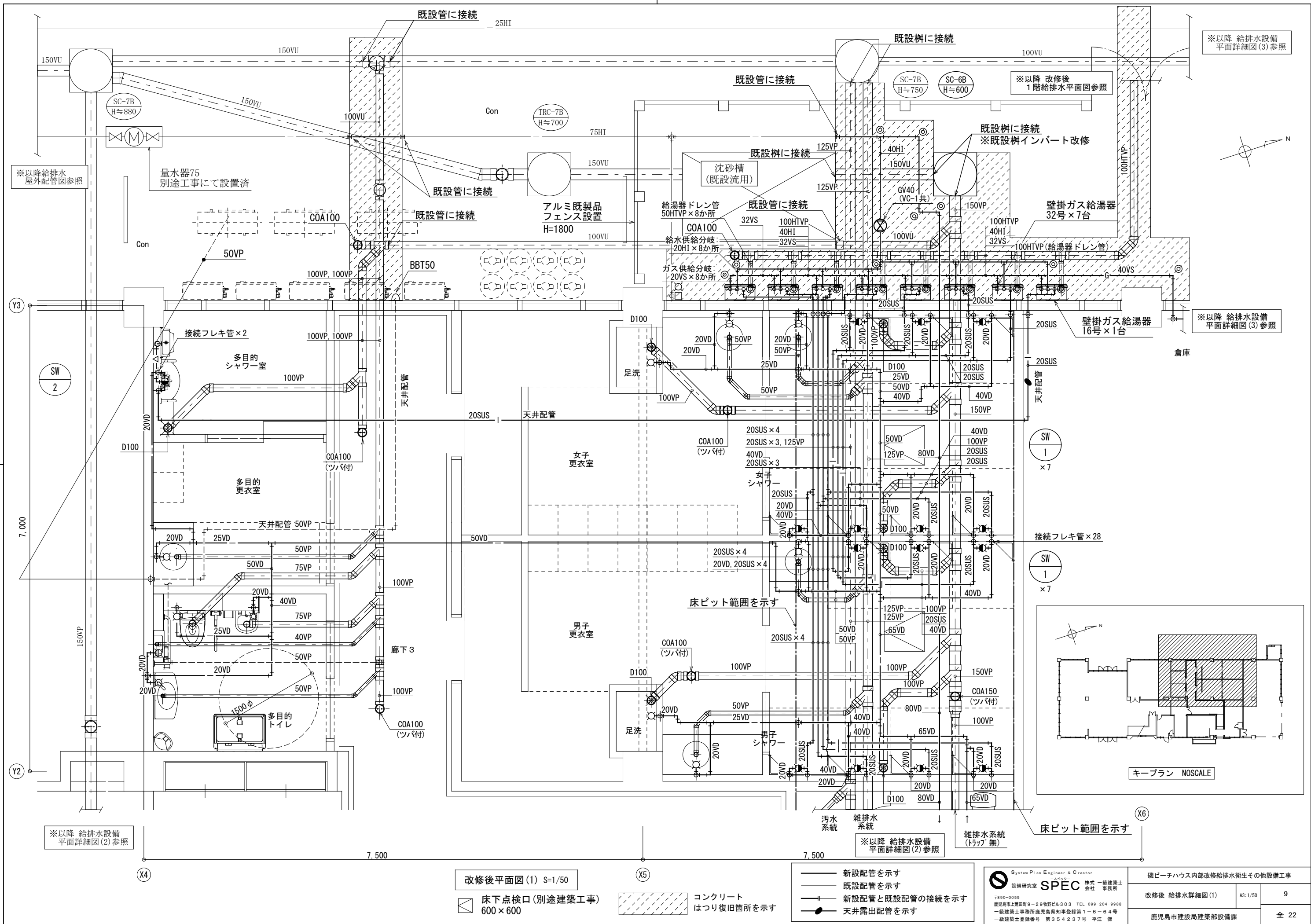
コンクリートはつり  
復旧箇所を示す

- 新設配管を示す
- 既設配管を示す
- 新設配管と既設配管の接続を示す

System Plan Engineer & Creator  
設備研究室 SPEC 株式会社 一級建築士  
事務所  
〒880-0055  
鹿児島市上荒田町9-29牧野ビル303 TEL 098-204-9988  
一級建築士事務所鹿児島県知事登録第1-6-64号  
一級建築士登録番号 第354237号 平江 徹

磯ピーチハウス内部改修給排水衛生その他設備工事			
改修後 1階給排水平面図 プラスチック樹施工要領図、樹リスト	NO SCALE A3:1/100	8	
鹿児島市建設局建築部設備課			全 22





改修後平面図(1) S=1/50

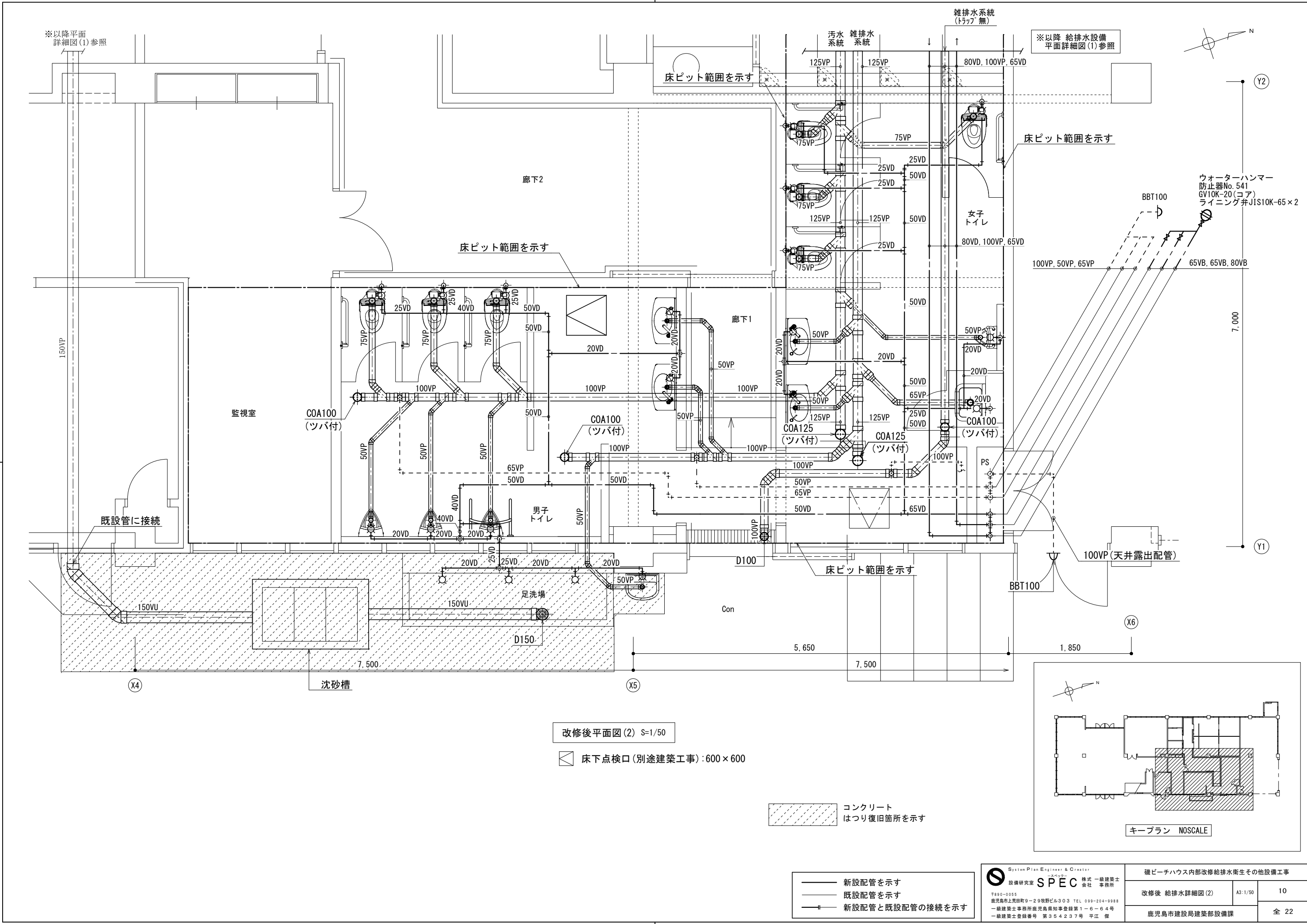
床下点検口(別途建築工事)  
600×600

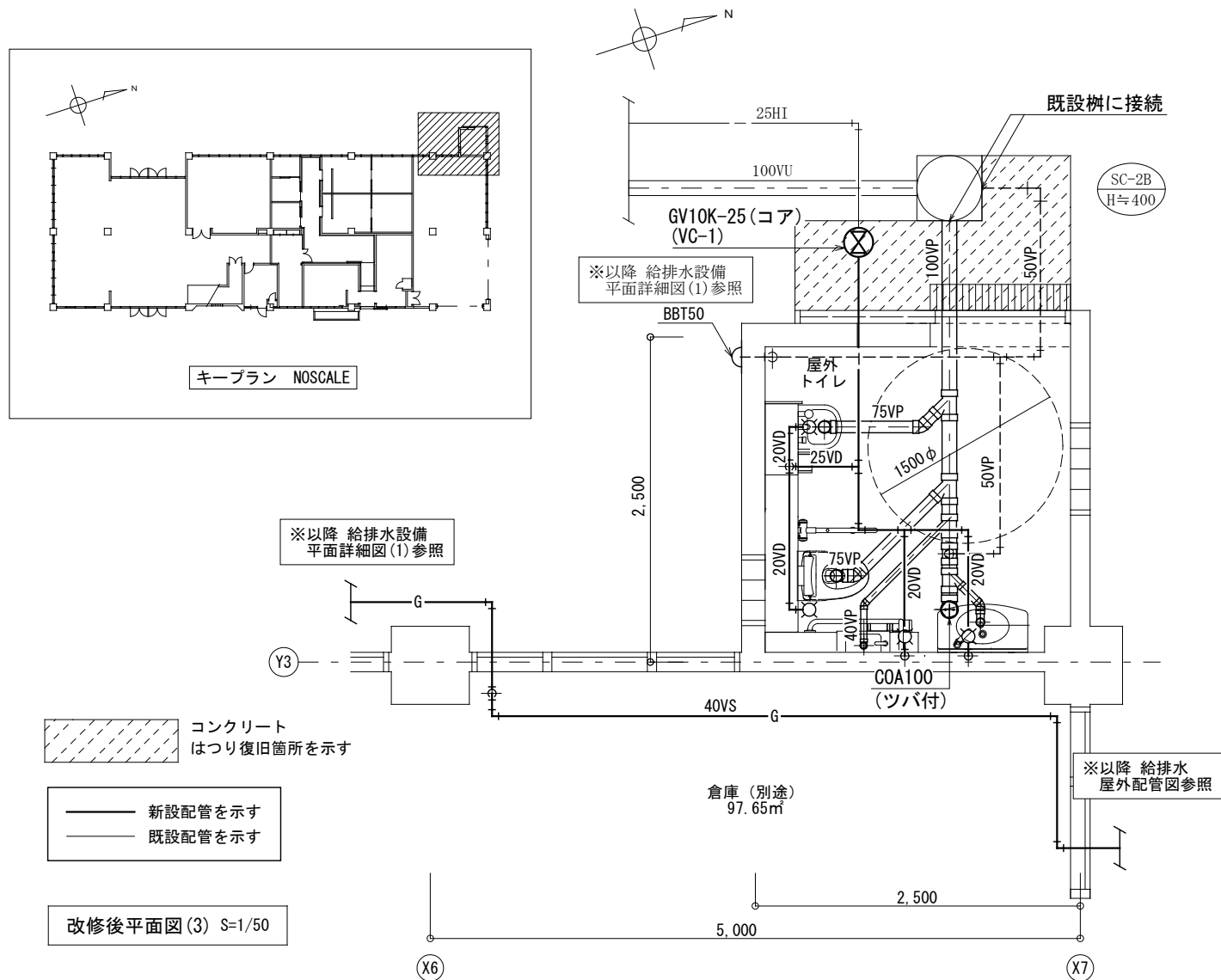
コンクリート  
はつり復旧箇所を示す

- 新設配管を示す
- 既設配管を示す
- 新設配管と既設配管の接続を示す
- 天井露出配管を示す

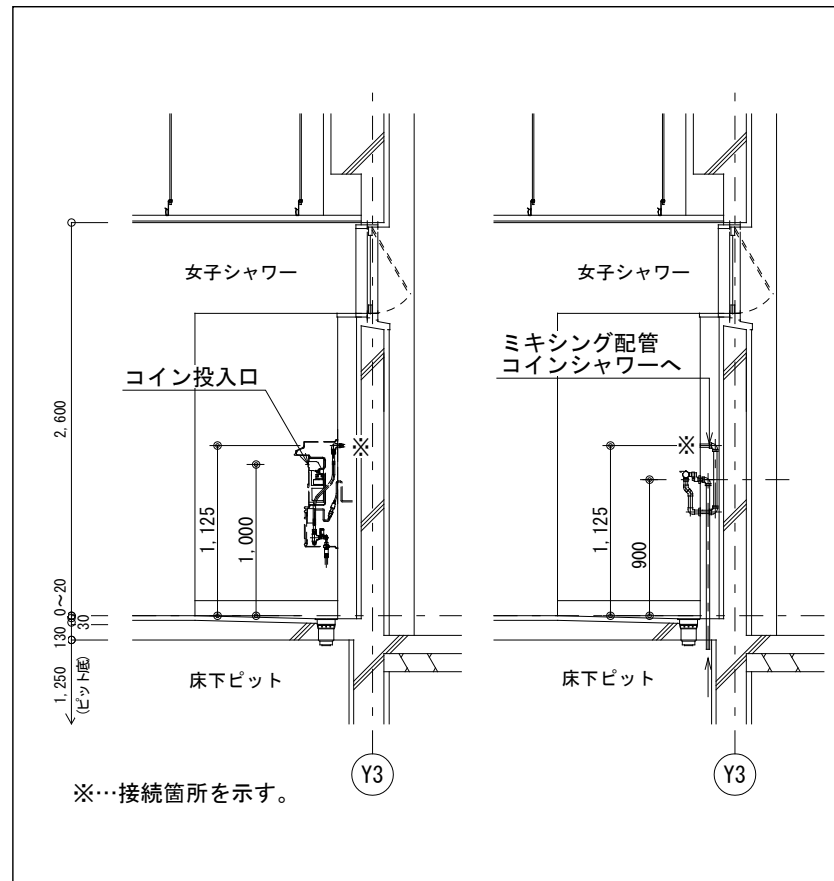
System Plan Engineer & Creator  
設備研究室 SPEC  
〒890-0055  
鹿児島市上荒田町9-29 牧野ビル303 TEL 099-204-9988  
一級建築士事務所鹿児島県知事登録第1-6-64号  
一級建築士登録番号 第354237号 平江 徹

磯ピーチハウス内部改修給排水衛生その他設備工事		
改修後 給排水詳細図(1)	A3:1/50	9
鹿児島市建設局建築部設備課		全 22

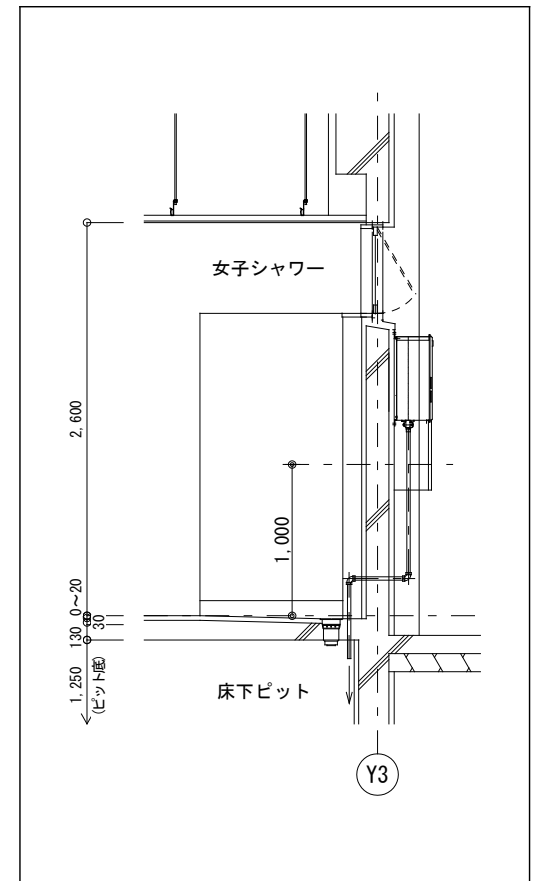




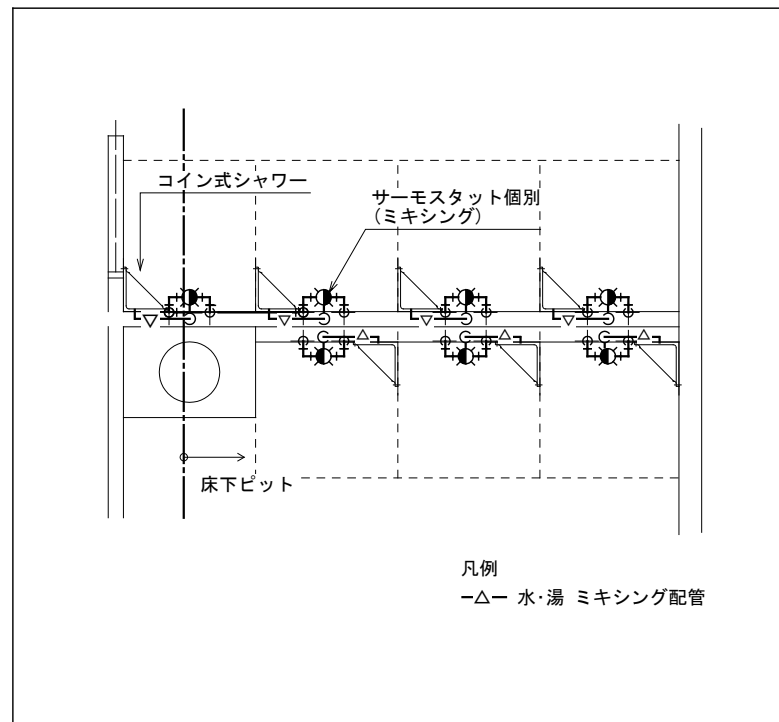
コイン式シャワー 配管要領 (断面図) NO SCALE



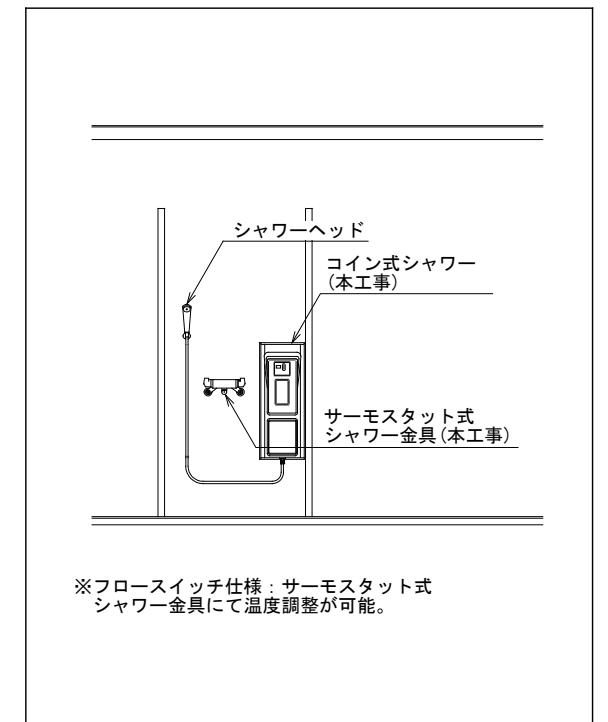
給湯器廻り配管要領 S=1:50



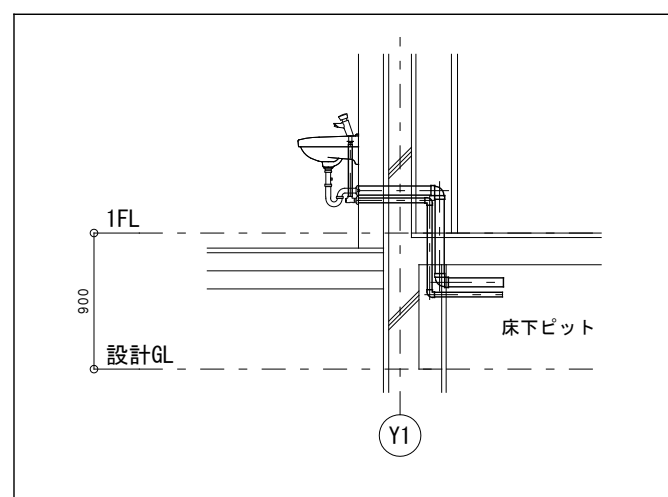
コイン式シャワー 配管要領 (平面図) NO SCALE

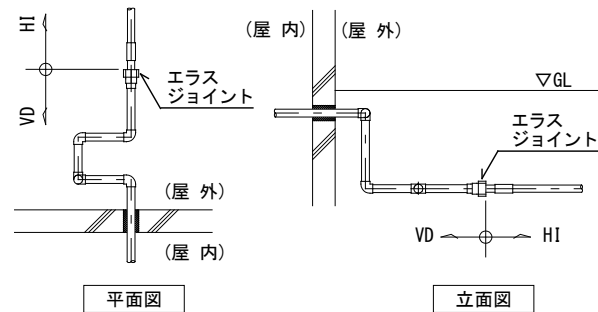


コイン式シャワー参考図 NO SCALE

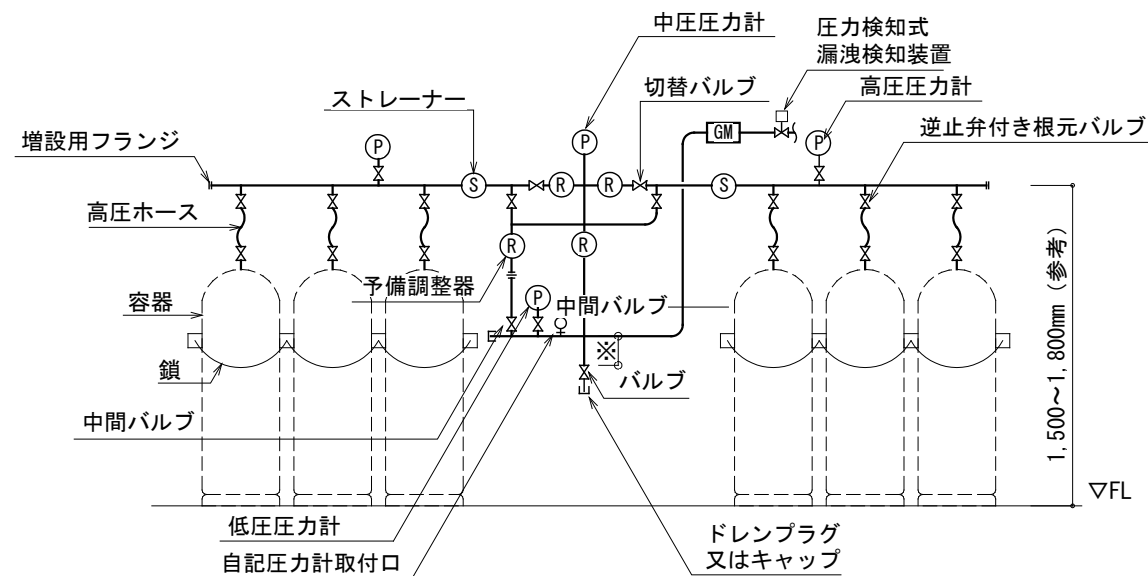
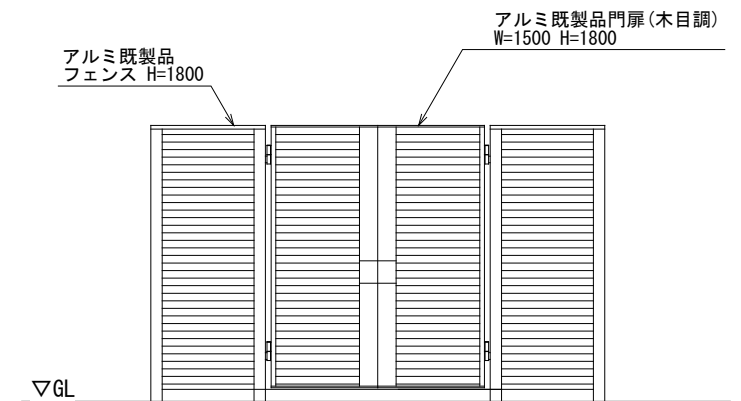
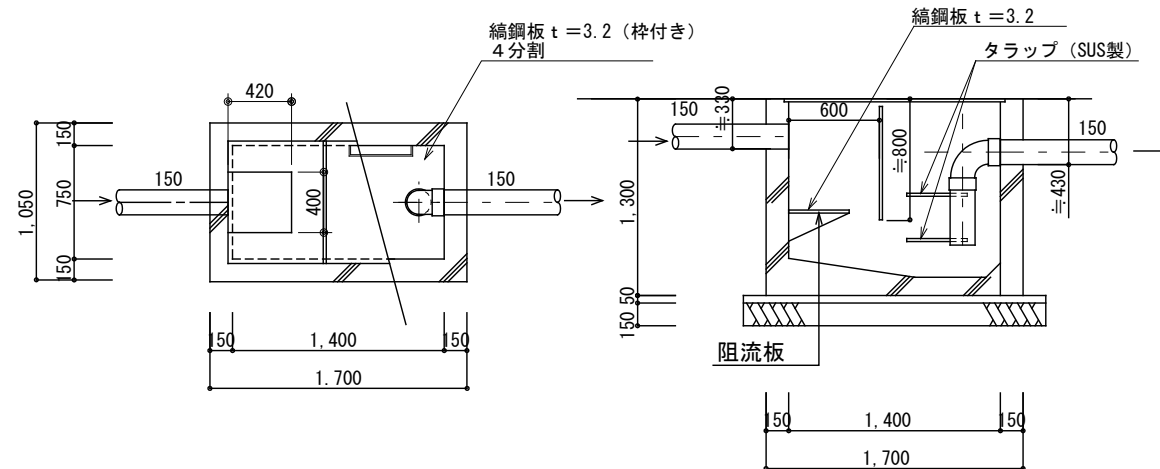


屋外手洗器 配管要領 NO SCALE

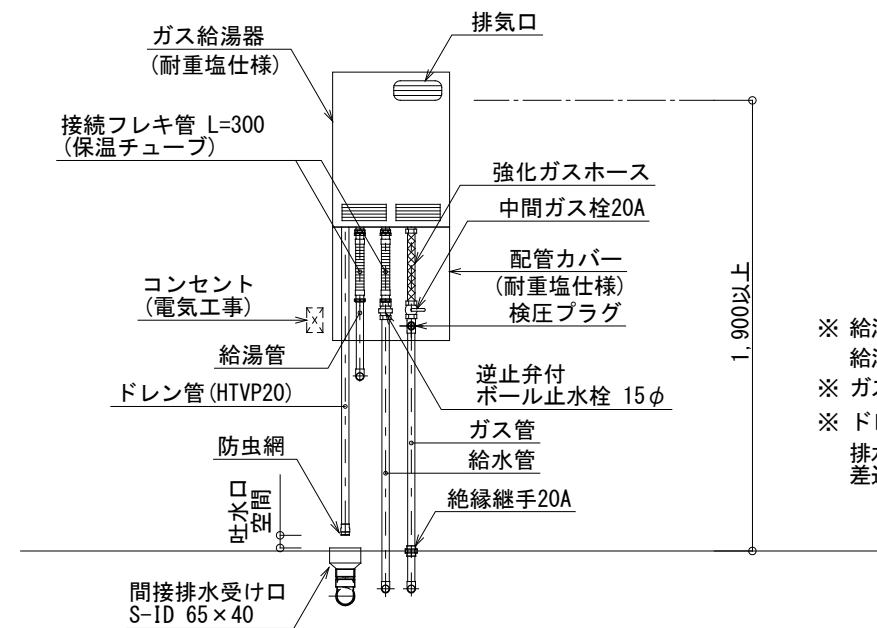




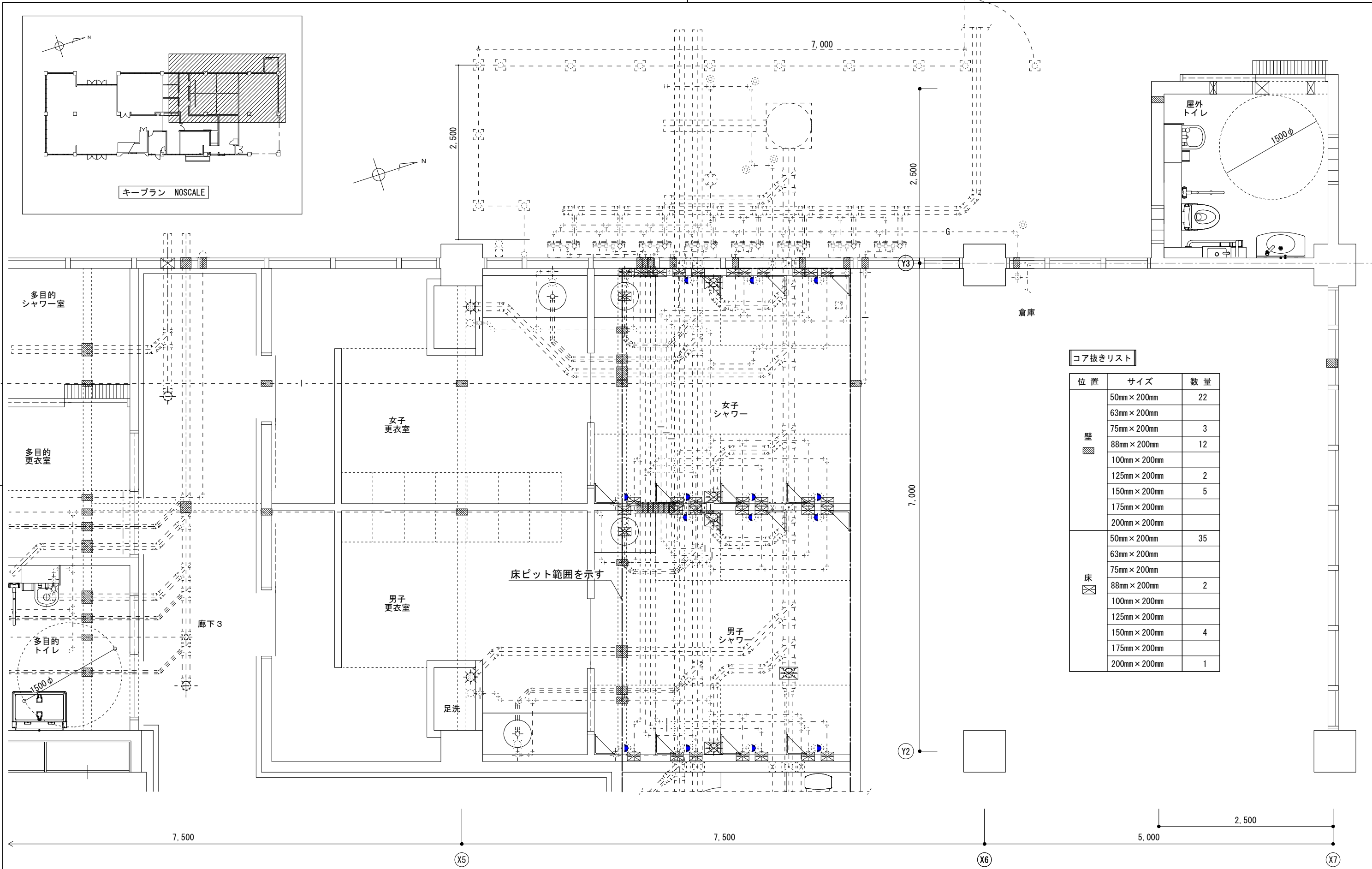
※管のたわみ性を利用した方法(スリークッション)で施工する。  
エルボ×5個



※200mm以上(ドレン溜り)  
※緊急遮断弁取付



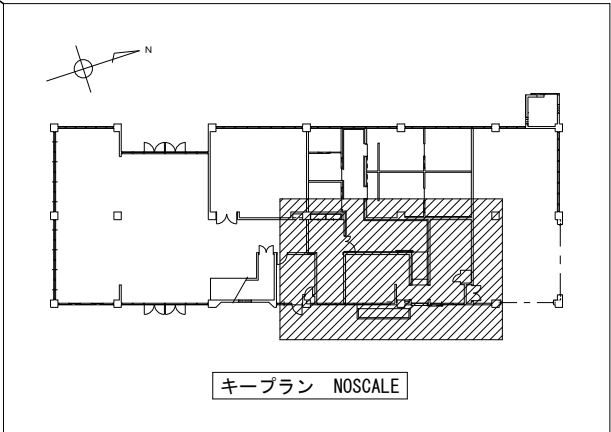
- ※ 給湯器配管カバー内の給水管は保温チューブ巻き、給湯管は耐熱性保温チューブ巻きとする。
- ※ ガス給湯器排気口の高さは地面より1900H以上確保すること。
- ※ ドレン排水は間接排水とし、先端は大気開放とする。  
排水管先端は適切な吐水口空間を確保し、間接排水受け口への差込みは避けること。



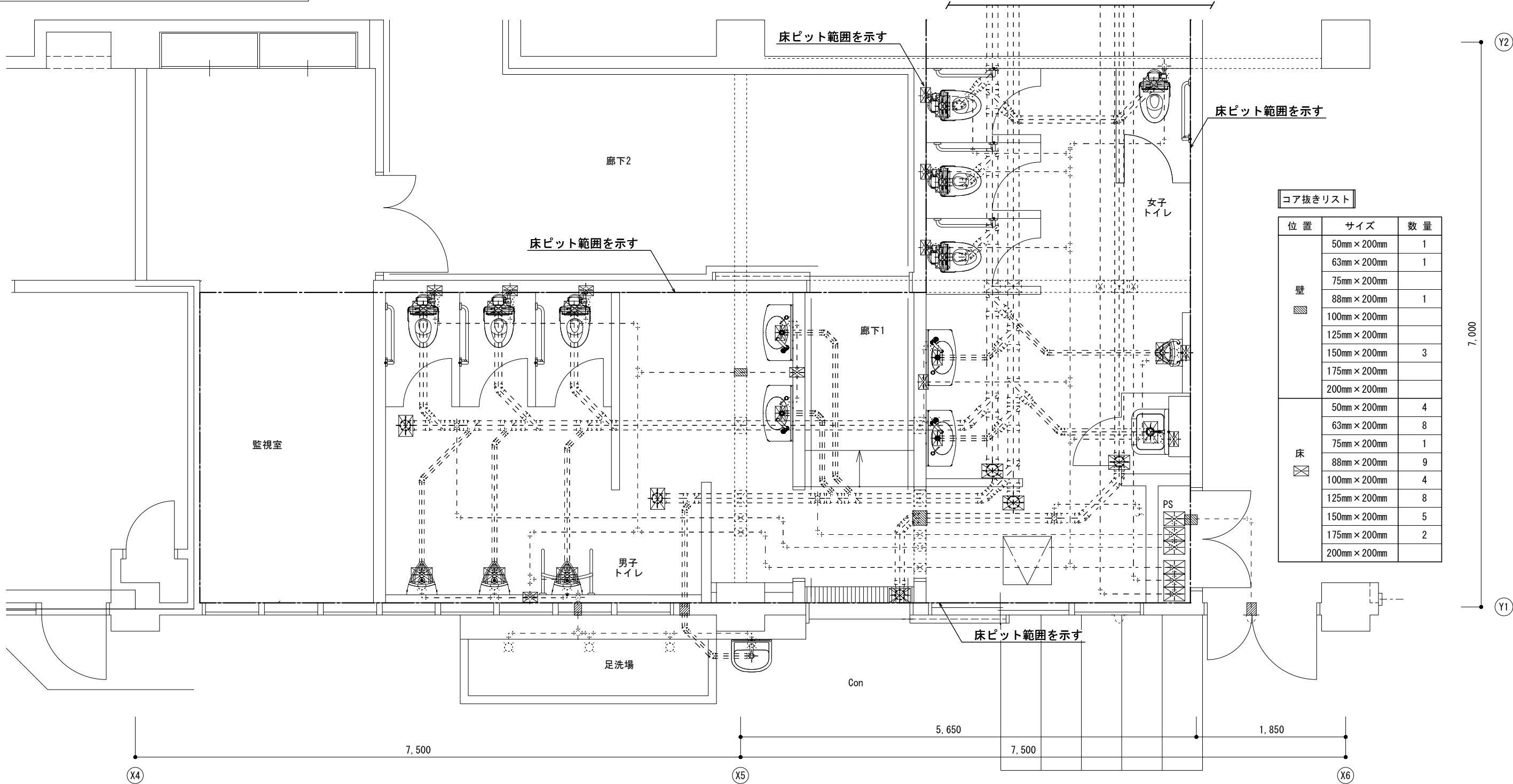
コア抜きリスト

位置	サイズ	数量
壁	50mm × 200mm	22
	63mm × 200mm	
	75mm × 200mm	3
	88mm × 200mm	12
	100mm × 200mm	
	125mm × 200mm	2
	150mm × 200mm	5
	175mm × 200mm	
床	200mm × 200mm	
	50mm × 200mm	35
	63mm × 200mm	
	75mm × 200mm	
	88mm × 200mm	2
	100mm × 200mm	
	125mm × 200mm	
	150mm × 200mm	4
	175mm × 200mm	
	200mm × 200mm	1

コア抜き位置図 (1) S=1/50



キープラン NOSCALE



※以降 給排水設備  
平面詳細図(1)参照

床ピット範囲を示す

床ピット範囲を示す

床ピット範囲を示す

床ピット範囲を示す

コア抜きリスト

位 置	サイズ	数 量
壁	50mm×200mm	1
	63mm×200mm	1
	75mm×200mm	
	88mm×200mm	1
	100mm×200mm	
	125mm×200mm	
	150mm×200mm	3
	175mm×200mm	
床	200mm×200mm	
	50mm×200mm	4
	63mm×200mm	8
	75mm×200mm	1
	88mm×200mm	9
	100mm×200mm	4
	125mm×200mm	8
	150mm×200mm	5
	175mm×200mm	2
	200mm×200mm	

コア抜き位置図(2) S=1/50



空調機器表

記号	品名	仕様及び付属品	電気特性			数量	備考
			φ	V	kW		
ACP-1	空冷ヒートポンプパッケージ	型式：天井埋込カセット形（2方向吹出） （消費電力）	1	200	1.1	1	監視室
	エアコン	冷房能力：3.6kW （圧縮機）			0.6		室外機基礎（本工事）
	（業務用シングルインバーター）	暖房能力：4.0kW					電源：室外機
	（室外機：JRA重耐塩仕様）	付属品：防振パット、転倒防止ワイヤー、ワイヤードリモコン、化粧パネル共					

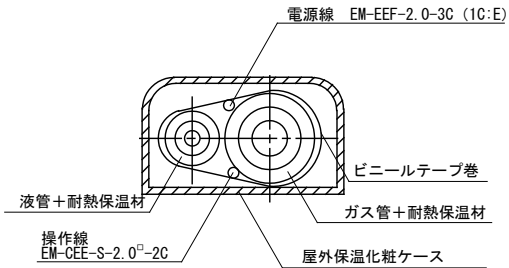
※ 空調機の機器の能力は記載数値以上のものを採用すること。  
※ 空調機は各メーカーの最上位機種を選定すること。  
※ パッケージエアコンの能力及び消費電力は「JIS B 8616」で規定された定格条件による。  
※ ルームエアコンの能力及び消費電力は「JIS C 9612」で規定された定格条件による。

※ 室内機のルーバーは、オートスイング機能付とする。  
※ 電気工事の配線等の施工は有資格者により施工すること。

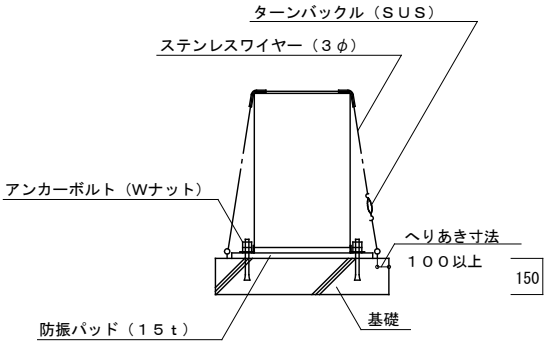
換気機器表

記号	名称	機器仕様	電源			数量	設置場所
			φ	V	W		
<div>HEU 1</div>	空調換気扇	型式：天井埋込形	1	100	110	1	監視室
		風量：150m <sup>3</sup> /h 静圧：60Pa					
		付属品：深形パイプフード150φ（SUS製、ガラリ付、指定色塗装）					
		コントロールスイッチ、給排気グリル×2、防振吊金具共					
<div>FE 1</div>	シロッコファン	型式：消音形耐湿タイプ	1	100	90	1	男子トイレ
		風量：530m <sup>3</sup> /h 静圧：60Pa					
		付属品：深形パイプフード200φ（SUS製、ガラリ付、指定色塗装）					
		フレキシブルダクト					
<div>FE 2</div>	シロッコファン	型式：消音形耐湿タイプ	1	100	90	1	女子トイレ
		風量：460m <sup>3</sup> /h 静圧：60Pa					
		付属品：深形パイプフード200φ（SUS製、ガラリ付、指定色塗装）					
		フレキシブルダクト					
<div>FE 3</div>	排気ファン 24時間換気	型式：天井扇 低騒音形	1	100	50	1	男子更衣室
		風量：240m <sup>3</sup> /h 静圧：60Pa					
		付属品：深形パイプフード150φ（SUS製、ガラリ付、指定色塗装）					
		フレキシブルダクト					
<div>FE 4</div>	排気ファン	型式：天井扇(耐湿形) 低騒音形	1	100	50	1	男子シャワー室
		風量：190m <sup>3</sup> /h 静圧：60Pa					
		付属品：深形パイプフード150φ（SUS製、ガラリ付、指定色塗装）					
		フレキシブルダクト					
<div>FE 5</div>	排気ファン 24時間換気	型式：天井扇 低騒音形	1	100	50	1	女子更衣室
		風量：220m <sup>3</sup> /h 静圧：40Pa					
		付属品：深形パイプフード150φ（SUS製、ガラリ付、指定色塗装）					
		フレキシブルダクト					
<div>FE 6</div>	排気ファン	型式：天井扇(耐湿形) 低騒音形	1	100	30	1	女子シャワー室
		風量：180m <sup>3</sup> /h 静圧：40Pa					
		付属品：深形パイプフード150φ（SUS製、ガラリ付、指定色塗装）					
		フレキシブルダクト					
<div>FE 7</div>	排気ファン	型式：天井扇 低騒音形	1	100	30	1	多目的トイレ
		風量：190m <sup>3</sup> /h 静圧：40Pa					
		付属品：深形パイプフード150φ（SUS製、ガラリ付、指定色塗装）					
		フレキシブルダクト					
<div>FE 8</div>	排気ファン 24時間換気	型式：天井扇 低騒音形	1	100	20	1	多目的更衣室
		風量：90m <sup>3</sup> /h 静圧：30Pa					
		付属品：深形パイプフード100φ（SUS製、ガラリ付、指定色塗装）					
		フレキシブルダクト					
<div>FE 9</div>	排気ファン	型式：天井扇(耐湿形) 低騒音形	1	100	20	1	多目的シャワー室
		風量：80m <sup>3</sup> /h 静圧：30Pa					
		付属品：深形パイプフード100φ（SUS製、ガラリ付、指定色塗装）					
		フレキシブルダクト					
<div>FE 10</div>	排気ファン	型式：有圧扇（SUS製） 羽根径300φ	1	100	80	2	倉庫
		風量：1010m <sup>3</sup> /h 静圧：50Pa					OF-1と連動
		付属品：電気式シャッター（SUS製）、有圧換気扇用木枠、絶縁枠、保護カバー					
		ウェザーカバー30cm用（SUS製、防鳥網付、指定色塗装）					

冷媒配管（屋外保温化粧ケース）詳細図（参考）  
NO SCALE



室外機据付要領図（参考）  
NO SCALE



記号	名称	機器仕様	電源			数量	設置場所
			φ	V	W		
<div>FE 11</div>	排気ファン	型式：業務用有圧換気扇 羽根径200φ	1	100	20	1	屋外トイレ
		風量：160m <sup>3</sup> /h 静圧：20Pa					
		付属品：電気式シャッター（SUS製）、有圧換気扇用木枠、絶縁枠、保護カバー					
		ウェザーカバー20cm用（SUS製、防鳥網付、指定色塗装）					
<div>OF 1</div>	給気ファン	型式：有圧扇（SUS製） 羽根径400φ	1	100	200	1	倉庫
		風量：2020m <sup>3</sup> /h 静圧：50Pa					FE-10と連動
		付属品：電気式シャッター（SUS製）、有圧換気扇用木枠、絶縁枠、保護カバー					
		ウェザーカバー40cm用（SUS製、防鳥網付、指定色塗装）					
<div>OA 1</div>	給気口	型式：制気口参照				1	廊下2
<div>OA 2</div>	給気口	型式：深形パイプフード200φ（SUS製、ガラリ付、指定色塗装）				1	女子トイレ
		付属品：深形パイプフード200φ（SUS製、ガラリ付、指定色塗装）					
<div>OA 3</div>	給気口	型式：制気口参照				2	男子更衣室
<div>OA 4</div>	給気口	型式：深形パイプフード200φ（SUS製、ガラリ付、指定色塗装）					女子更衣室
		付属品：深形パイプフード150φ（SUS製、ガラリ付、指定色塗装）				1	多目的更衣室
<div>OA 5</div>	給気口	型式：制気口参照				1	男子トイレ
<div>OA 6</div>	給気口	型式：給気グリル200φ 壁取付				1	屋外トイレ
		付属品：深形パイプフードFD付200φ（SUS製、ガラリ付、指定色塗装）					

※ 換気平面図に「24H」の図示のある換気機器のスイッチは、常時換気すべきことを指示する表示を取付けること。  
※ 換気扇類のダクトは、パイプフード側に下り勾配とすること。 ※ 電気容量は参考値とする。

凡例表

記号	名称	摘要	備考
—R—	冷媒管	断熱材被覆銅管 ポリエチレン保温材（難燃性）	JCOA 0009
—D—	空調ドレン管	屋内隠ぺい、屋外埋設：硬質ポリ塩化ビニル管(VP)	JIS K 6741
		屋外露出部：配管用炭素鋼銅管 SGP-Zn（屋内立下配管含む）	
—△—	リモコン線	EM-AE-1.2-2C	壁露出部：メタルモールA型共
<div>SD</div>	スパイラルダクト	垂鉛鉄板製	
<div>VU</div>	VU管	塩化ビニル管	
<div>⇒</div>	パイプフード	深型フード（SUS製、ガラリ付）	（指定色塗装）
<div>□</div>	空調機（2方向）		
<div>⊠</div>	空調換気扇		
<div>⊞</div>	天井扇		
<div>⊠⊠</div>	制気口	⊠ 吸込口:GVS ⊠ 吹出口:H(F)	
<div>⊠</div>	シロッコファン		
<div>⌞</div>	天井点検口	450×450	（別途建築工事）
<div>⌞<sub>06</sub></div>	ドアガラリ		（別途建築工事）
<div>▨</div>	コア貫き	鉄筋探索を行うこと。 梁貫通はしないこと。	
<div>⊠</div>	既設コア流用		

保温・塗装

配管名称	施工箇所		
	屋内隠蔽	屋内露出	屋外露出
冷媒管	A	B	B
ドレン管	C	D	F
スパイラルダクト (OA, EA)	E	—	—
保温・塗装仕様詳細	A テープ巻（1m毎） B 保温化粧ケース C 保温チューブ D 合成樹脂カバー E アルミガラスクロス化粧保温帯＋ アルミガラスクロス粘着テープ F 塗装（OP2回塗）		

換氣計算書	(一般換氣)
-------	--------

[illegible]

参考：換気計算式

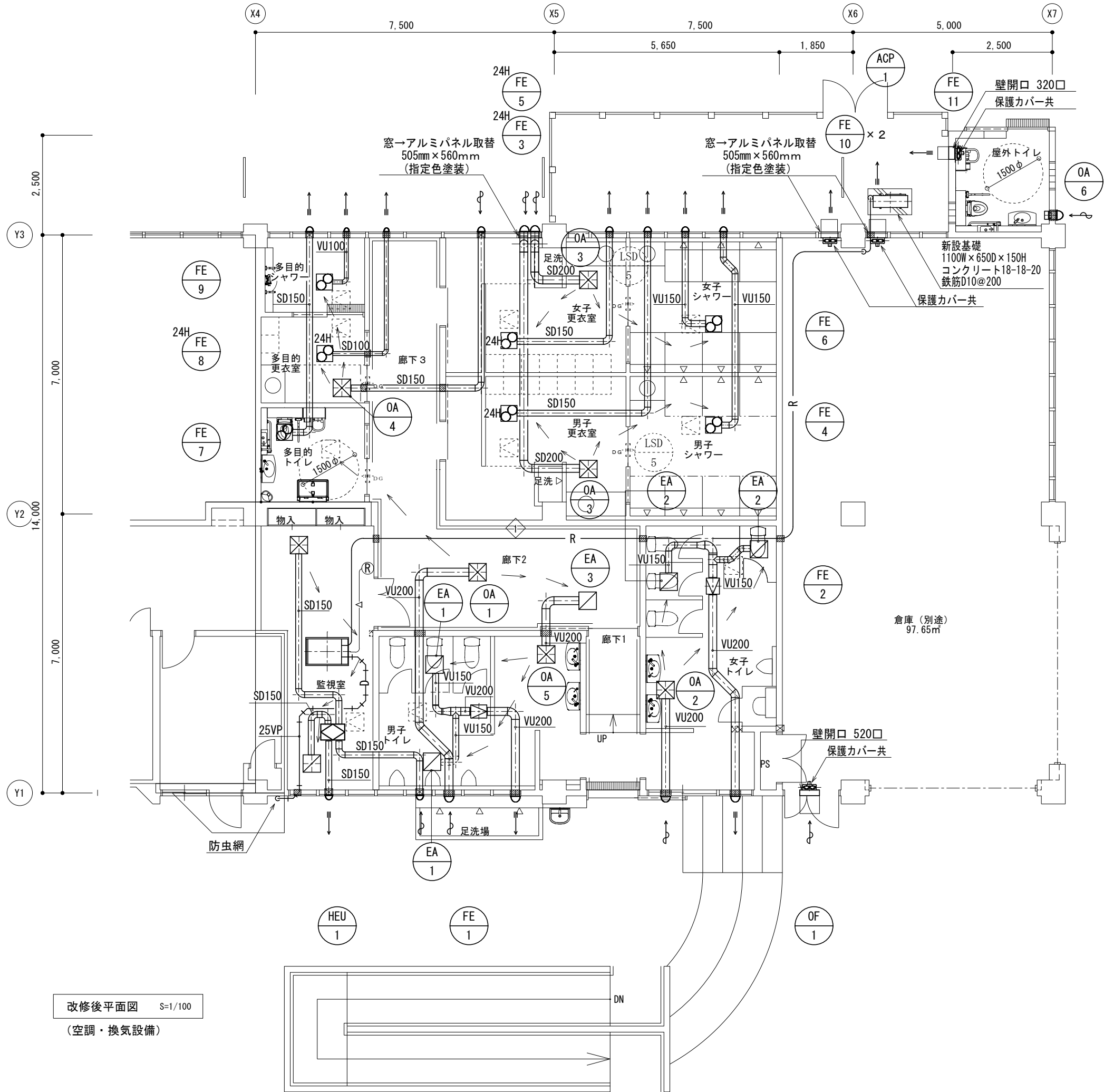
$$\begin{aligned} & \text{・ 換気回数による必要換気量} & Q' \text{ [m}^3/\text{h]} &= A \text{ [m}^2] \times H \text{ [m]} \times c \text{ [回/h]} \\ & \text{・ 換気量による給気口面積} & S \text{ [m}^2] &= Q \text{ [m}^3/\text{h]} \div (3,600 \times v \text{ [m/s]} \times \alpha) \end{aligned}$$

換気計算書 (シックハウス対策 (24 時間換気))

[illegible]

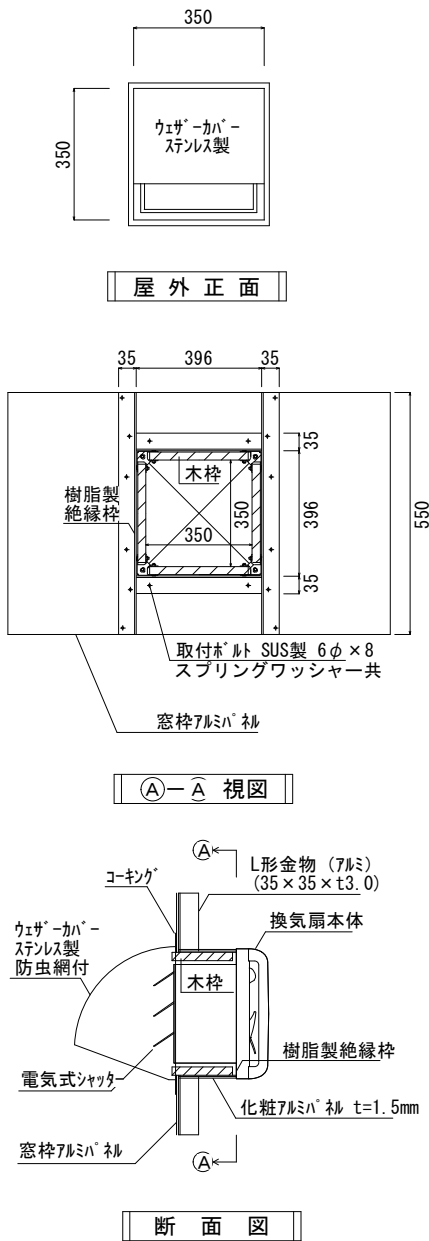
## 制気口リスト

室 名	種 別		風 量 [m <sup>3</sup> /h]	種 類	寸 法	ボックス寸法 (W×D×H)	個 数
廊下2	吹出口	OA-1	720	H (F)	400×400	550×550×400	1
女子トイレ	吹出口	OA-2	460	H (F)	350×350	500×500×400	1
男子更衣室	吹出口	OA-3	430	H (F)	300×300	450×450×350	1
女子更衣室	吹出口	OA-3	400	H (F)	300×300	450×450×350	1
多目的更衣室	吹出口	OA-4	170	H (F)	200×200	350×350×300	1
男子トイレ	吹出口	OA-5	530	H (F)	350×350	500×500×400	1
男子トイレ	吸込口	EA-1	270	GVS	250×250	400×400×350	2
女子トイレ	吸込口	EA-2	230	GVS	250×250	400×400×350	2
廊下2	吸込口	EA-3	530	GVS	350×350	500×500×400	1



換気扇取付参考図

換気扇 (30cm) 及びウェザーカバー (ステンレス) 取付詳細図 No Scale

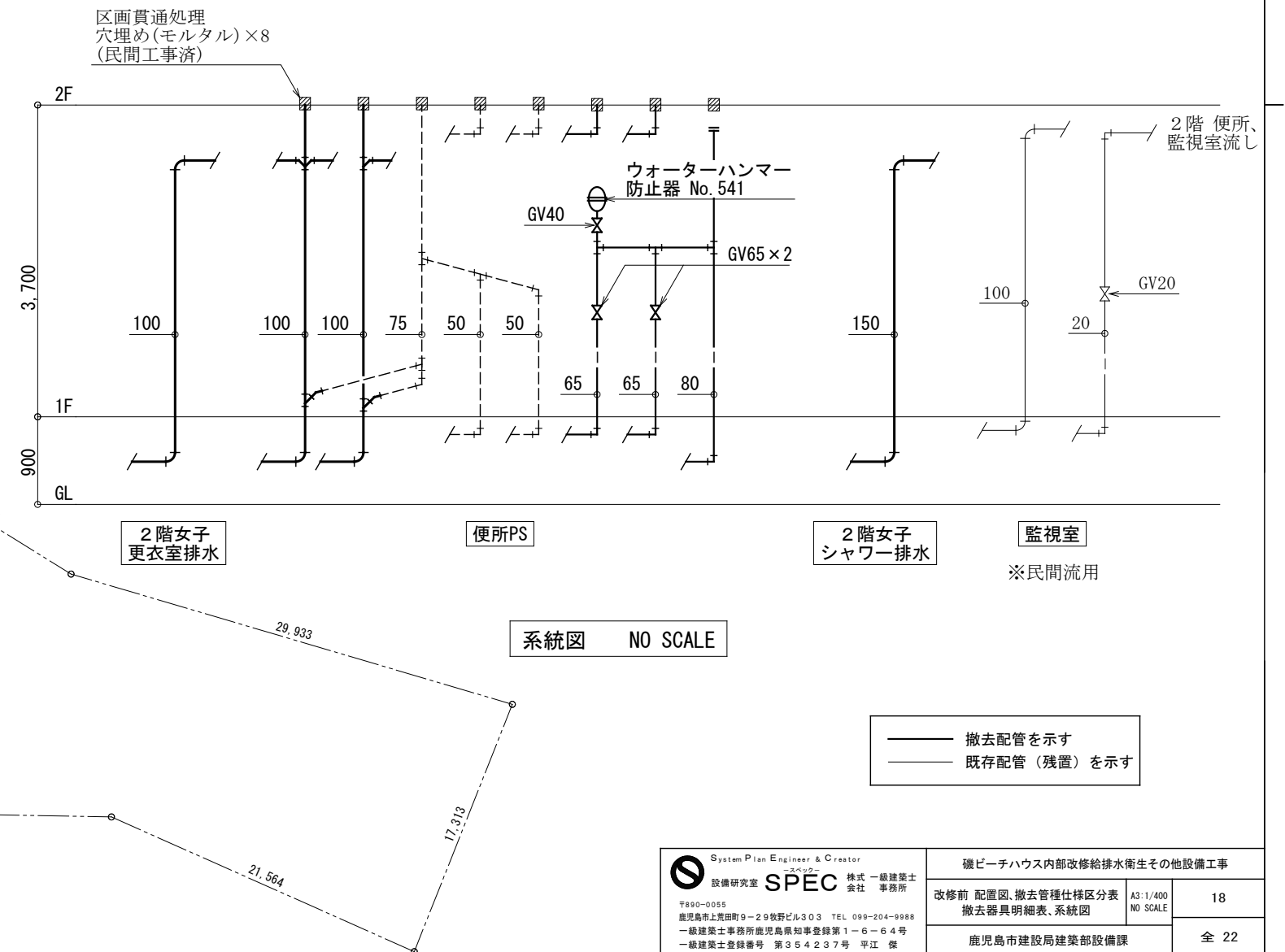
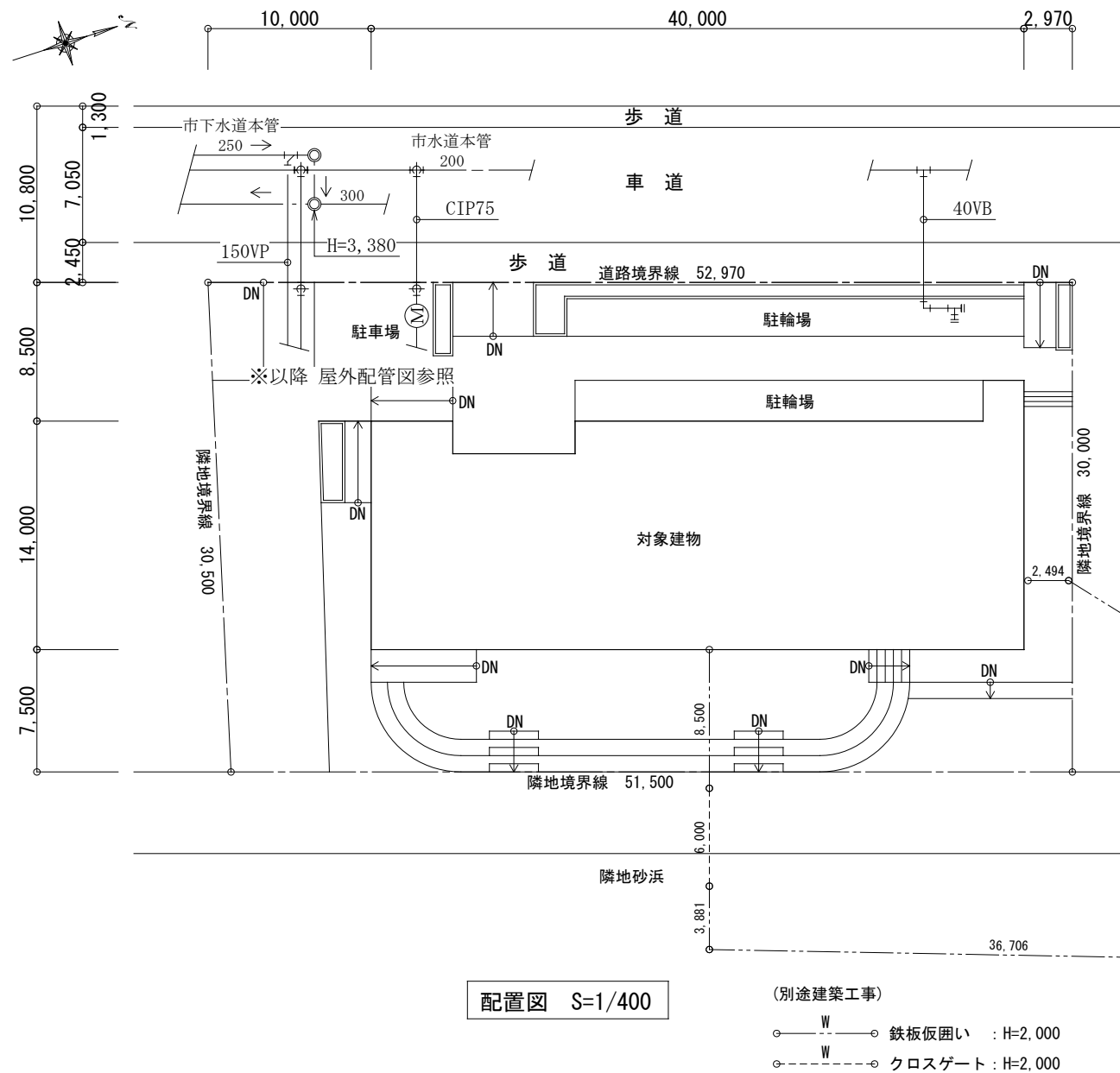


コア抜きリスト	
サイズ	数量
50mm x 200mm	
63mm x 200mm	1
75mm x 200mm	
88mm x 200mm	
100mm x 200mm	4
125mm x 200mm	1
150mm x 200mm	1
175mm x 200mm	2
200mm x 200mm	2
225mm x 200mm	
250mm x 200mm	7

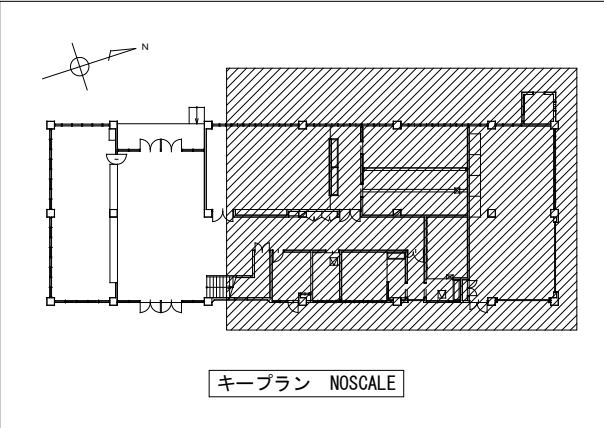
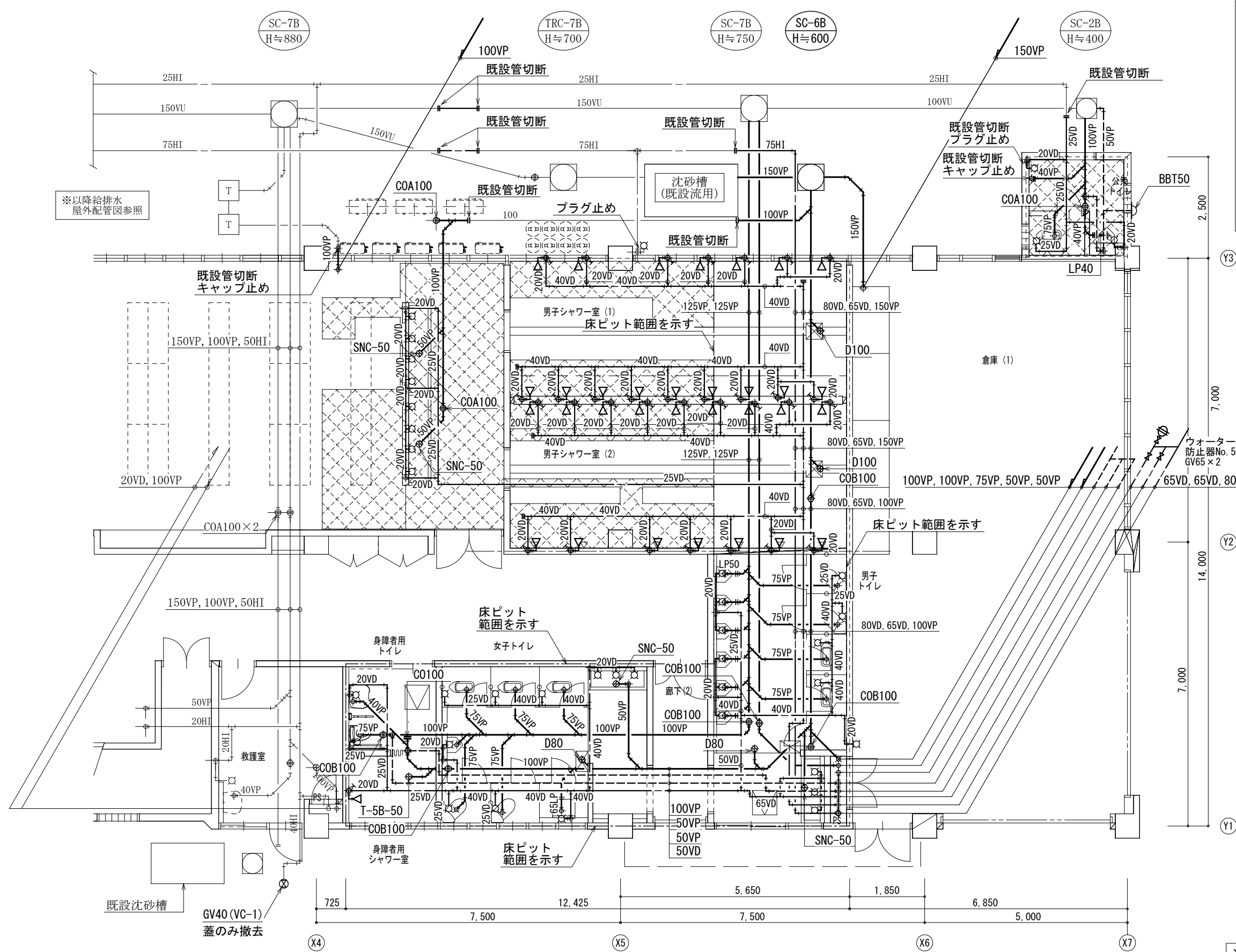
冷媒口径リスト

記号	冷媒管口径	
	液管	ガス管
①	6.4φ	12.7φ
※保温化粧ケース: PD120φ (屋外)		
※保温化粧ケース: SD100 x 70 (屋内露出)		

名 称	記 号	使 用 区 分	管 種	備 考
給 水 管	—— - — HI	屋外・屋内地中埋設部	水道用耐衝撃性硬質塩化ビニル管	HIVP
	—— - — VB	屋外地中埋設部	内面硬質塩化ビニルライニング鋼管	SGP-VB
	—— - —	上記外	内外面硬質塩化ビニルライニング鋼管	SGP-VD
排 水 管	—— — — VP	屋内一般・屋内土間・地中埋設・屋外土間・ビット内	硬質ポリ塩化ビニル管	VP
	—— — — VU	地中埋設（樹間）	硬質ポリ塩化ビニル管	VU
	—— — — LP	小便器・掃除流し	排水用鉛管	LP
通 気 管	— — — — VP	屋内一般・ビット内	硬質ポリ塩化ビニル管	VP

[illegible]





※以降給排水  
屋外配管図参照

※2階スラブより上部立管撤去済。  
区画貫通処理も、別途工事にて施工済。

改修前 1階平面図 S=1/100

撤去配管を示す

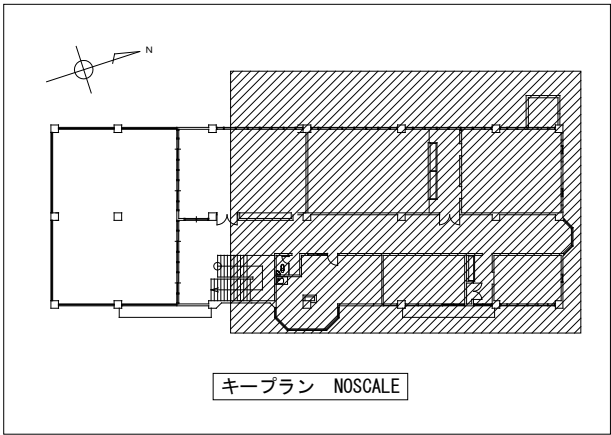
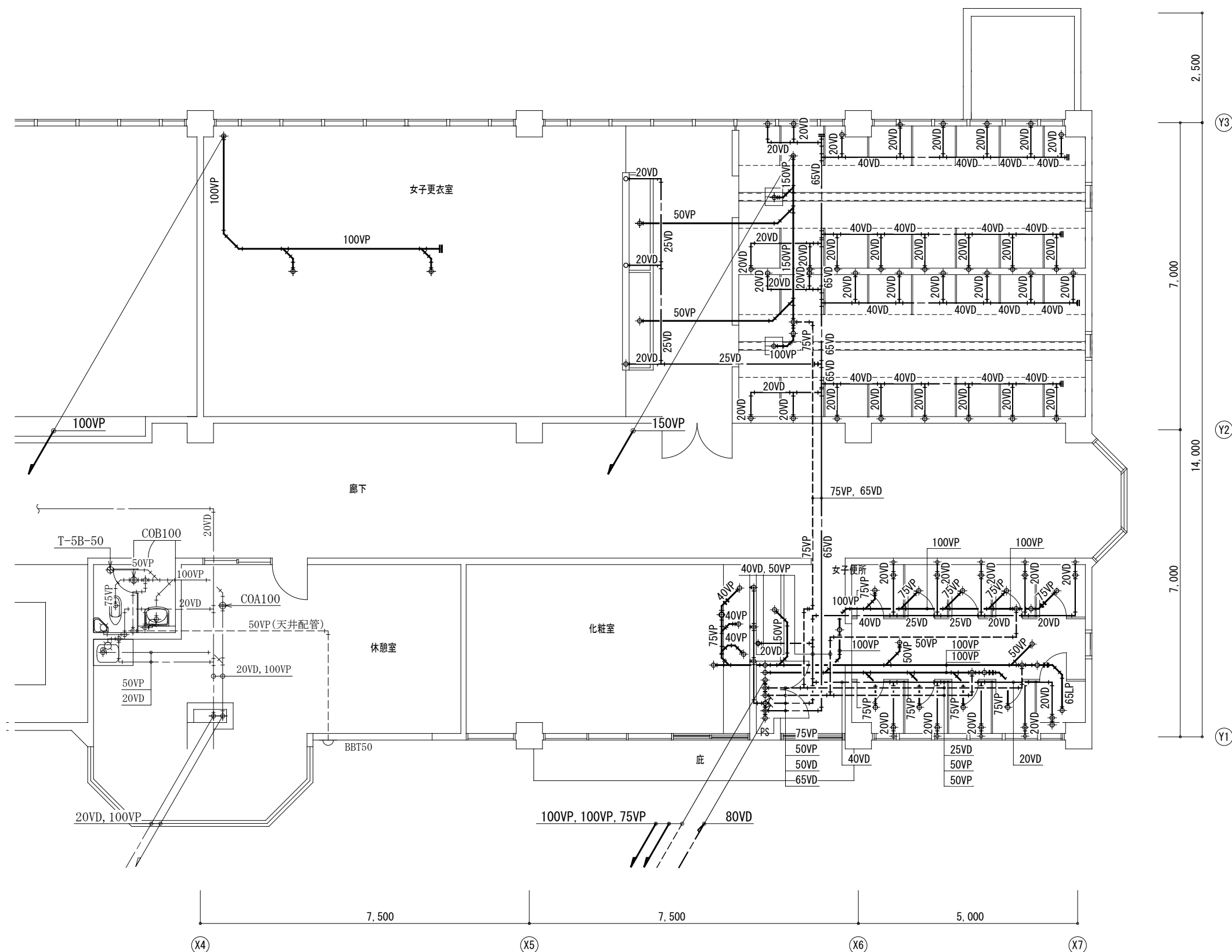
既存配管（残置）を示す

既存配管との切り離し箇所を示す

…土間はつり範囲を示す(別途建築工事)

System Plan Engineer & Creator 設備研究室 SPEC 株式会社 一級建築士事務所		磯ピーチハウス内部改修給排水衛生その他設備工事	
〒890-0055 鹿児島市上荒田町9-29牧野ビル303 TEL 098-204-9988 一級建築士事務所鹿児島県知事登録第1-6-64号 一級建築士登録番号 第354237号 平江 傑	改修前 1階給排水平面図 A3:1/100	20	
鹿児島市建設局建築部設備課		全 22	





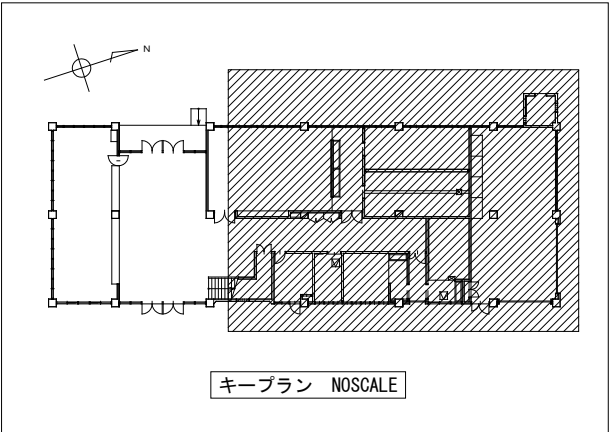
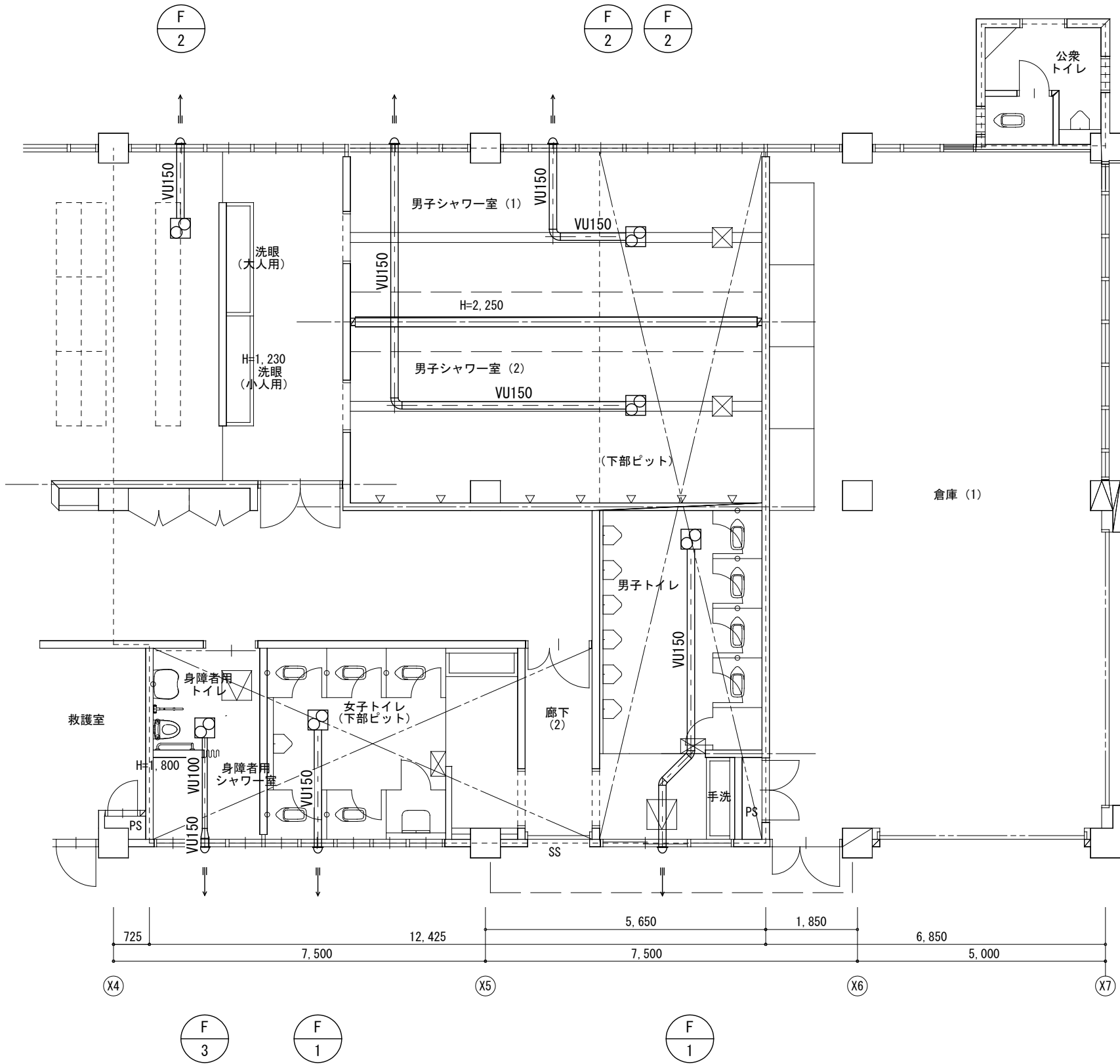
※2階スラブより上部立管撤去済。  
区画貫通処理も、別途工事にて施工済。  
※2階衛生器具、水栓は、撤去済。

改修前 2階平面図 S=1/100

- 撤去配管を示す
- 既存配管（残置）を示す
- 既設配管との切り離し箇所を示す

<div><div><div></div></div><div>設備研究室</div><div>〒890-0055</div><div>鹿児島市上荒田町9-29牧野ビル303</div><div>TEL 099-204-9988</div><div>一級建築士事務所鹿児島県知事登録第1-6-64号</div><div>一級建築士登録番号 第354237号 平江 傑</div></div> <div>System Plan Engineer &amp; Creator</div> <div>株式会社 設備研究室</div> <div>一級建築士事務所</div>	磯ピーチハウス内部改修給排水衛生その他設備工事		
	改修前 2階給排水平面図	A3:1/100	21
	鹿児島市建設局建築部設備課		全 22

機器明細表					
記 号	仕 様	風量 (m3/h)	静圧 (Pa)	数 量	備 考
$\frac{F}{1}$	天井埋込型	330	60	2	プラスチック製グリル 丸形フード ガラリ付 ステンレス製
$\frac{F}{2}$	天井埋込型	390	80	3	プラスチック製グリル 丸形フード ガラリ付 ステンレス製
$\frac{F}{3}$	天井埋込型	160	30	1	プラスチック製グリル 丸形フード ガラリ付 ステンレス製



改修前 1階平面図 S=1/100

<div><div><div></div><div>設備研究室</div></div><div><div>System Plan Engineer &amp; Creator</div><div>株式会社 一級建築士事務所</div></div><div><div>〒890-0055</div><div>鹿児島市上荒田町9-29牧野ビル303 TEL 098-204-9988</div><div>一級建築士事務所鹿児島県知事登録第1-6-64号</div><div>一級建築士登録番号 第354237号 平江 傑</div></div></div>	磯ビーチハウス内部改修給排水衛生その他設備工事		
改修前 1階換気平面図		A3:1/100	22
鹿児島市建設局建築部設備課			全 22